

令和5年

釧路市の水産

釧路市水産課

発刊にあたって

この年報は、令和5年に釧路市魚揚場で取扱われた水産物の販売記録に基づいて作成したものであります。

この年報作成にあたりご協力を賜りました釧路魚市場株式会社並びに釧路市漁業協同組合関係者各位に深く感謝の意を表すと共に今後一層のご指導をお願い申し上げます。

釧路市水産港湾空港部水産課



利用上の注意

1. 取扱いに関するデータは、全て釧路市魚揚場にて開設されている地方卸売市場の販売記録に基づいたものである。
2. 船籍の区分は、釧路管内に船籍を有するものを地元船、それ以外のは外来船とした。
3. 魚種名は、当地方での通称に従っている。例として「きんきん・目抜」は主として「おおさが」・「ばらめぬけ」を指す。
4. 小型さけ・ます漁業の取扱いは、春鮭鱒（小型船流し網と延縄）によるものである。
5. いか漁業船凍品の取扱いは日本近海海域によるものである。
6. 平成元年 4 月分から「取扱い金額」に消費税を含めている（平成 9 年 3 月まで 3%、平成 9 年 4 月から平成 26 年 3 月まで 5%、平成 26 年 4 月以降 8%）。

目 次

令和5年 釧路市の水産		頁
I 令和5年水揚げ概況		
	令和5年概況	1
(図－1)	釧路市魚揚場開設以来取扱数量・金額の推移	5
(図－2)	5ヶ年(令和元年～令和5年) 主要漁業別取扱の推移	6
(図－3, 図－4)	5ヶ年(令和元年～令和5年) 主要漁業別取扱の構成(%)	7
(図－5)	5ヶ年(令和元年～令和5年) 地元・外来別取扱の構成(%)	8
(図－6, 図－7)	令和5年 主要漁業地元・外来別取扱の構成(%)	9
(図－8, 図－9)	令和5年 主要漁業別取扱構成割合(%)	10
(図－10, 図－11)	令和5年 主要魚種別取扱構成割合(%)	11
(図－12)	5ヶ年(令和元年～令和5年) 主要漁業別平均単価の推移	12
(図－13)	5ヶ年(令和元年～令和5年) 月別取扱高の比較	13
(図－14)	令和5年 漁業別取扱高の前年対比	14
(図－15, 図－16)	令和5年 全国主要港水揚げ状況	15
II 令和5年市場取扱高及び推移		
1.	漁業別魚種別取扱高	19
2.	漁業別月別水揚げ回数	23
3.	魚揚場開設以来市場別取扱高	24
4.	5ヶ年(令和元年～令和5年) 漁業別取扱高	26
5.	5ヶ年(令和元年～令和5年) 月別取扱高	27
6.	5ヶ年(令和元年～令和5年) 魚種別取扱高	28
III 釧路水産業の沿革		31

令和 5 年 概 況

令和 5 年の釧路港への水揚げは、数量で 18 万 9,416 トン（前年 17 万 2,554 トン）、金額は 143 億 2,314 万 8 千円（前年 105 億 3,710 万 7 千円）となり、前年と比較して数量 1 万 6,862 トンの増となり、金額は 37 億 8,604 万 1 千円の増となった。

水揚げ全国順位は、数量で 1 位（前年 2 位）、金額で 13 位（前年 14 位）であった。

（沖合底曳網漁業）

スケトウダラが不振だったため、数量は 2 万 7,049 トン（前年 3 万 5,664 トン）で 8,615 トンの減、金額は 33 億 5,296 万 4 千円（前年 36 億 6,351 万 1 千円）と、前年より 3 億 1,054 万 7 千円の減となった。

（さけます漁業）

日本 200 海里内で操業する小型鮭鱒漁業は、数量 36 トン（前年 76 トン）で前年より 40 トンの減、金額では 2,987 万 2 千円（前年 4,478 万円）となり、前年より 1,490 万 8 千円の減となった。

（まき網漁業）

前年と比較し、数量は 15 万 9,798 トン（前年 13 万 4,412 トン）で前年より 25,386 トンの増、ペルーの漁獲枠削減等の影響によりミール単価が上昇したため、金額は 101 億 390 万円（前年 60 億 5,624 万 2 千円）となり前年より 40 億 4,765 万 8 千円の増となった。

（さんま棒受網漁業）

前年と比較して、数量は 67 トン（前年 25 トン）で前年より 42 トンの増、金額では 2,708 万 7 千円（前年 1,659 万 8 千円）で、前年より 1,048 万 9 千円の増となったが、近海での漁場形成が無く、操業場所も公海上と遠いため、今年も不振は変わらない状況となった。

（いか釣り漁業）

前年と比較し、数量は 235 kg（前年 200 kg）で前年より 35 kg の増、金額では 28 万 4 千円（前年 16 万 4 千円）で、前年より 12 万円の増となった。

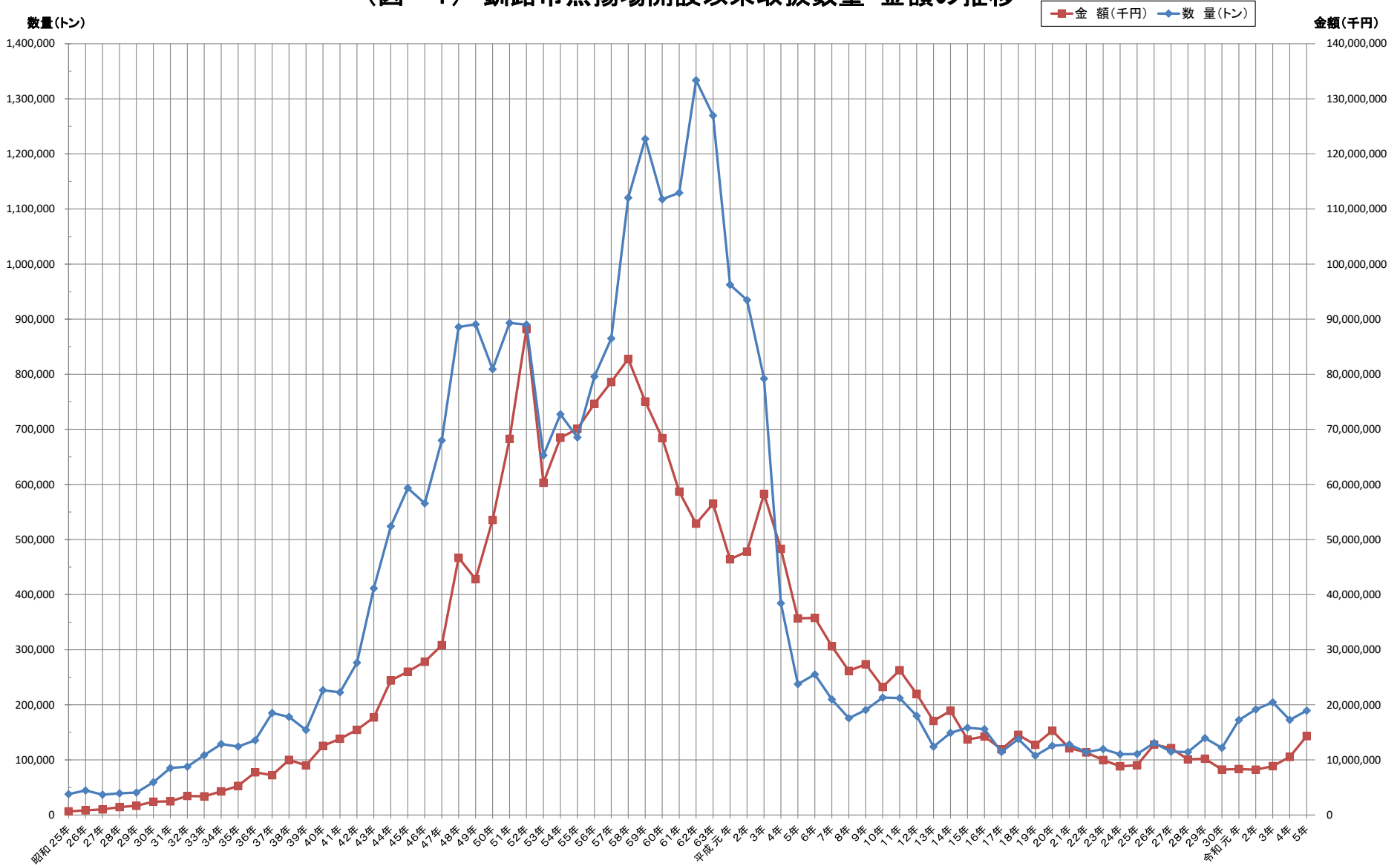
（沿岸漁業・その他）

数量、金額ともに前年を上回った。

I . 令和 5 年

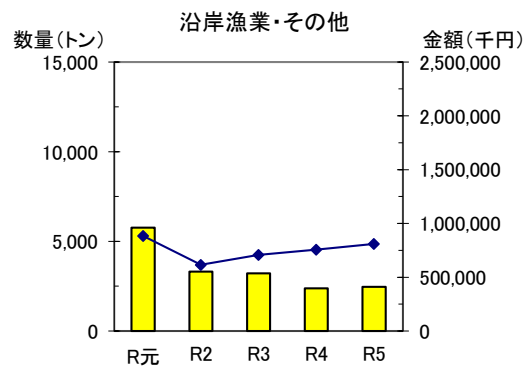
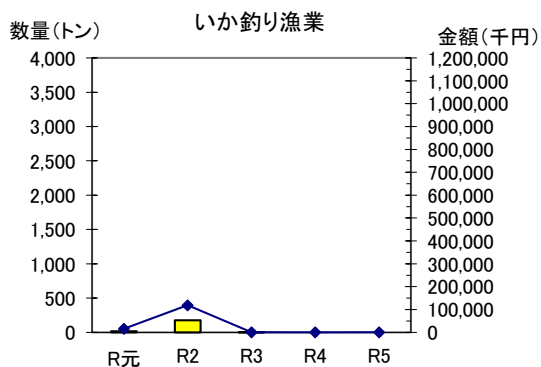
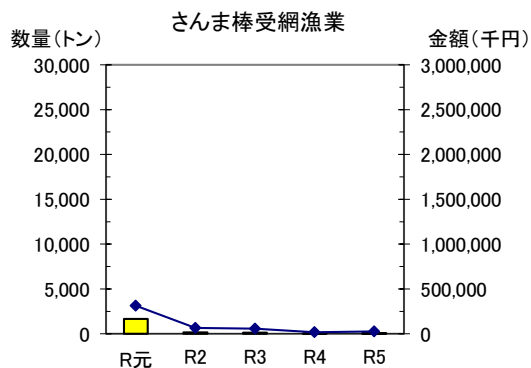
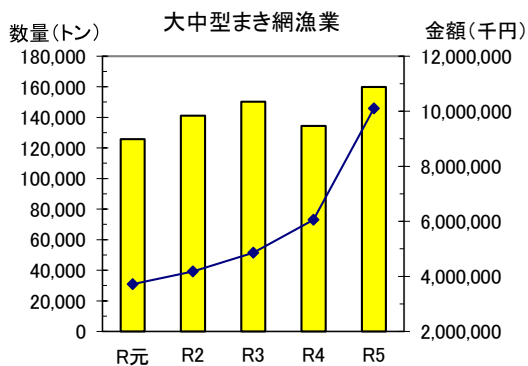
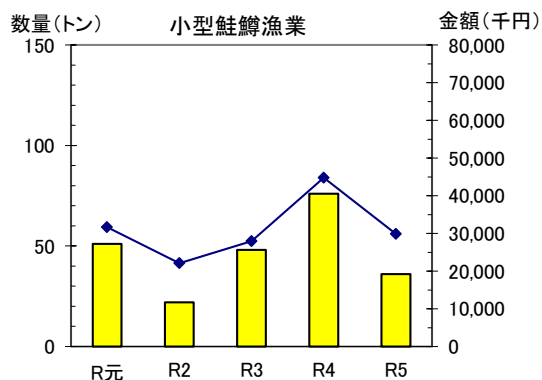
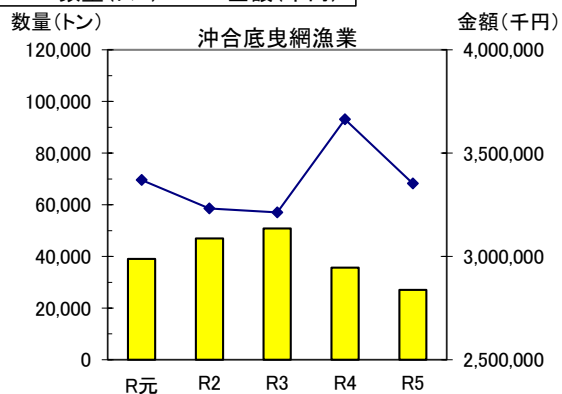
水揚げ概況

(図－1) 釧路市魚揚場開設以来取扱数量・金額の推移

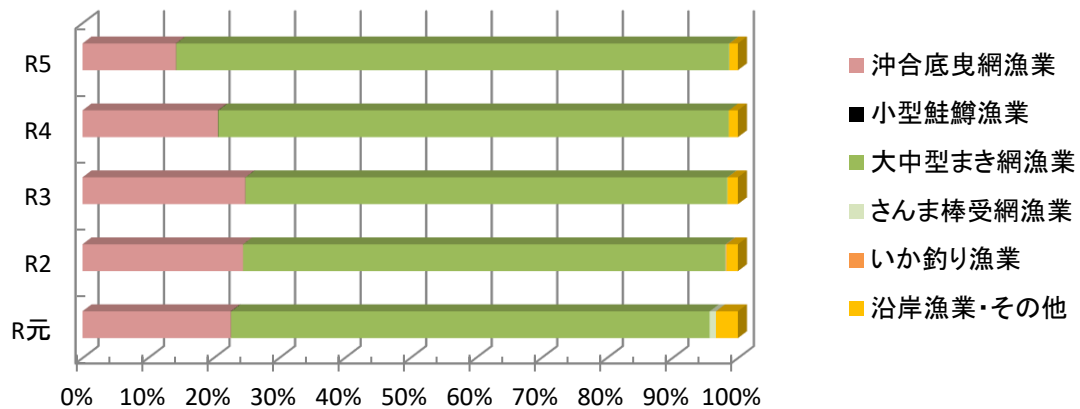


(図-2) 5ヶ年(令和元年～令和5年)主要漁業別取扱高の推移

■ 数量(トン) ◆ 金額(千円)

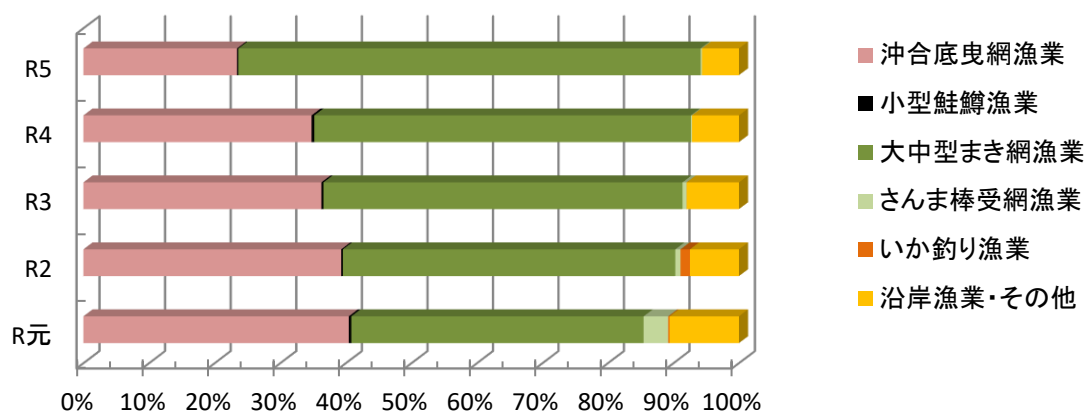


(図-3) 5ヶ年(令和元年～令和5年)漁業別取扱数量の構成(%)



数量(%)	沖合底曳網漁業	小型鮭鱒漁業	大中小型まき網漁業	さんま棒受網漁業	いか釣り漁業	沿岸漁業・その他
令和5年 18万9千トン	14.3%	0.0%	84.4%	0.0%	0.0%	1.3%
令和4年 17万3千トン	20.7%	0.0%	77.9%	0.0%	0.0%	1.4%
令和3年 20万5千トン	24.8%	0.0%	73.5%	0.1%	0.0%	1.6%
令和2年 19万2千トン	24.5%	0.0%	73.6%	0.1%	0.1%	1.7%
令和元年 17万2千トン	22.6%	0.0%	73.0%	1.0%	0.0%	3.4%

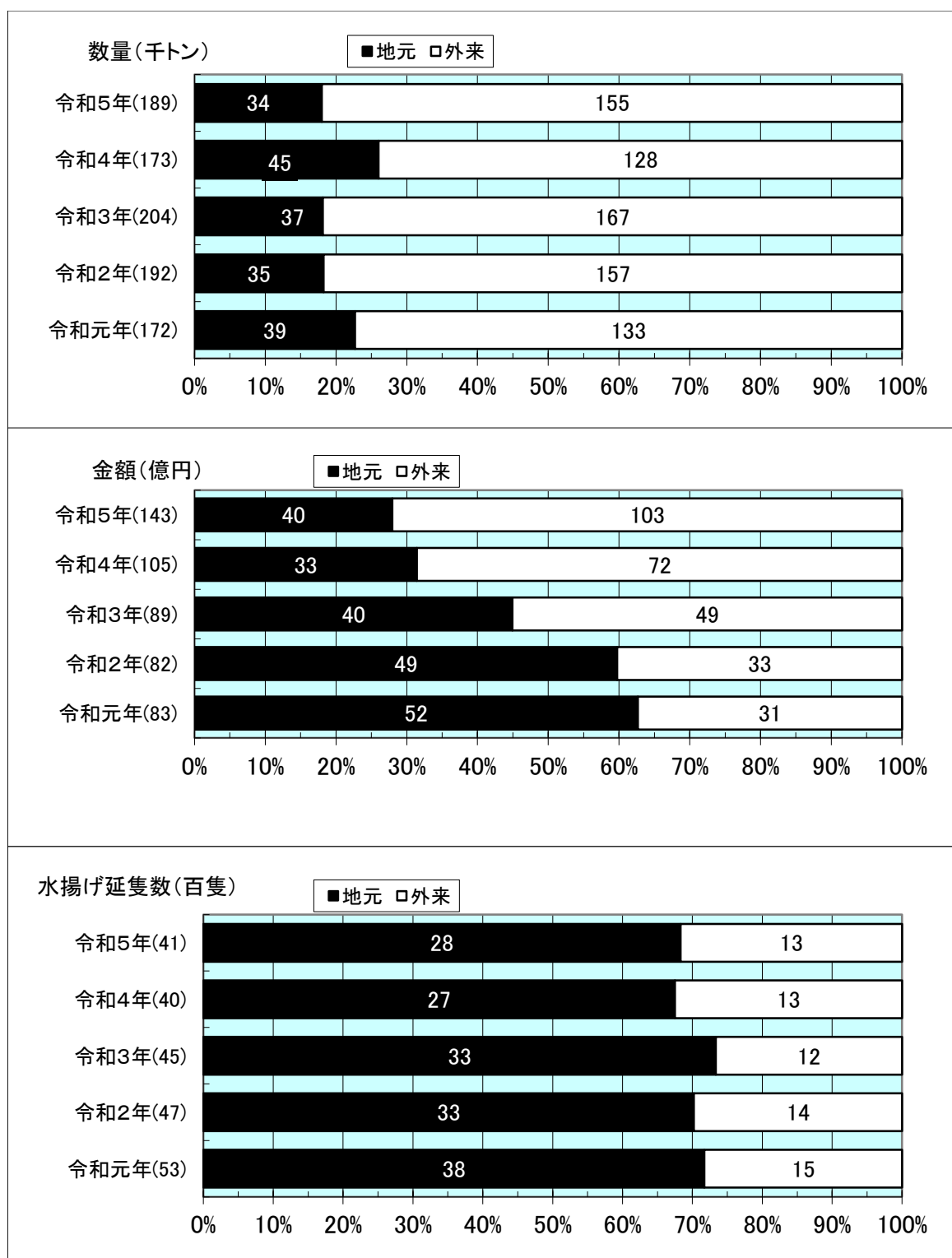
(図-4) 5ヶ年(令和元年～令和5年)漁業別取扱金額の構成(%)



金額(%)	沖合底曳網漁業	小型鮭鱒漁業	大中小型まき網漁業	さんま棒受網漁業	いか釣り漁業	沿岸漁業・その他
令和5年 143億円	23.4%	0.2%	70.5%	0.2%	0.0%	5.7%
令和4年 105億円	34.8%	0.4%	57.5%	0.2%	0.0%	7.1%
令和3年 89億円	36.3%	0.3%	54.8%	0.6%	0.0%	8.0%
令和2年 83億円	39.3%	0.3%	50.7%	0.8%	1.4%	7.5%
令和元年 82億円	40.4%	0.4%	44.6%	3.8%	0.2%	10.6%

※小数点以下第2位以下を四捨五入して記載

(図－5)5ヶ年(令和元年～令和5年)地元・外来別取扱の構成(%)



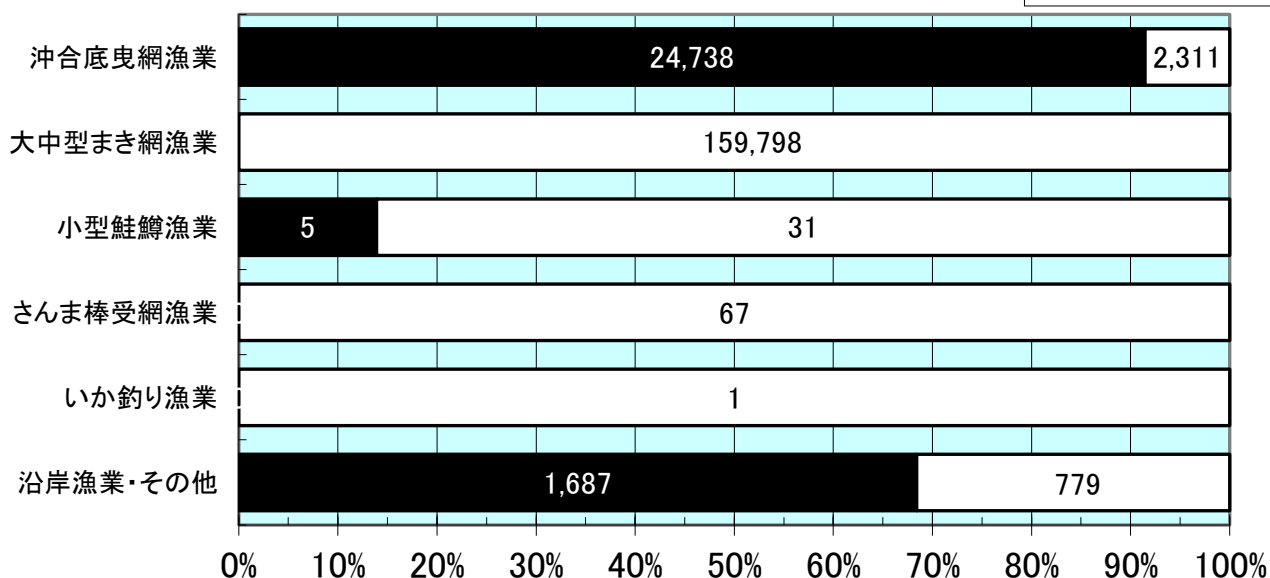
数量(%)	地元	外来	金額(%)	地元	外来	隻数(%)	地元	外来
令和5年	18.0%	82.0%	令和5年	28.0%	72.0%	令和5年	68.3%	31.7%
令和4年	26.0%	74.0%	令和4年	31.4%	68.6%	令和4年	67.5%	32.5%
令和3年	18.1%	81.9%	令和3年	44.9%	55.1%	令和3年	73.3%	26.7%
令和2年	18.2%	81.8%	令和2年	59.8%	40.2%	令和2年	70.2%	29.8%
令和元年	22.7%	77.3%	令和元年	62.7%	37.3%	令和元年	71.7%	28.3%

※小数点以下第2位以下を四捨五入して記載

(図-6) 令和5年主要漁業 地元・外来別取扱の構成(%)

数量(トン)

■地元 □外来



数量(%)	地元	外来
沖合底曳網漁業	91.0%	8.5%
小型鮭鱒漁業	13.9%	86.1%
大中型まき網漁業	0.0%	100.0%
さんま棒受網漁業	0.0%	100.0%
いか釣り漁業	0.0%	100.0%
沿岸漁業・その他	68.4%	31.6%

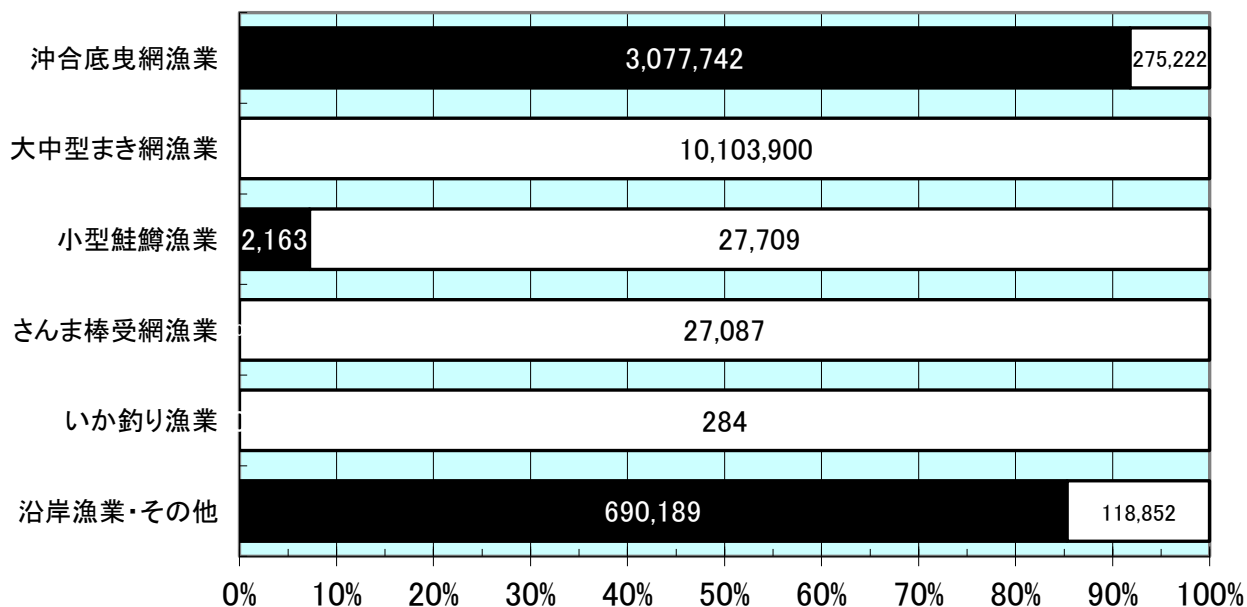
金額(%)	地元	外来
沖合底曳網漁業	91.8%	8.2%
小型鮭鱒漁業	7.2%	92.8%
大中型まき網漁業	0.0%	100.0%
さんま棒受網漁業	0.0%	100.0%
いか釣り漁業	0.0%	100.0%
沿岸漁業・その他	85.3%	14.7%

※小数点以下第2位以下を四捨五入して記載

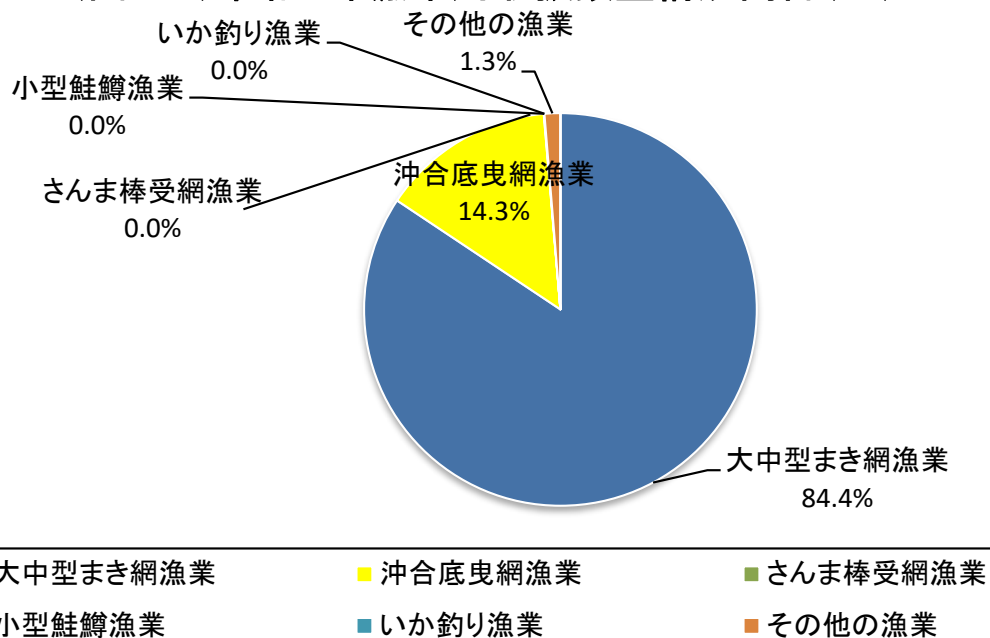
(図-7) 令和5年主要漁業 地元・外来別取扱の構成(%)

金額(千円)

■地元 □外来



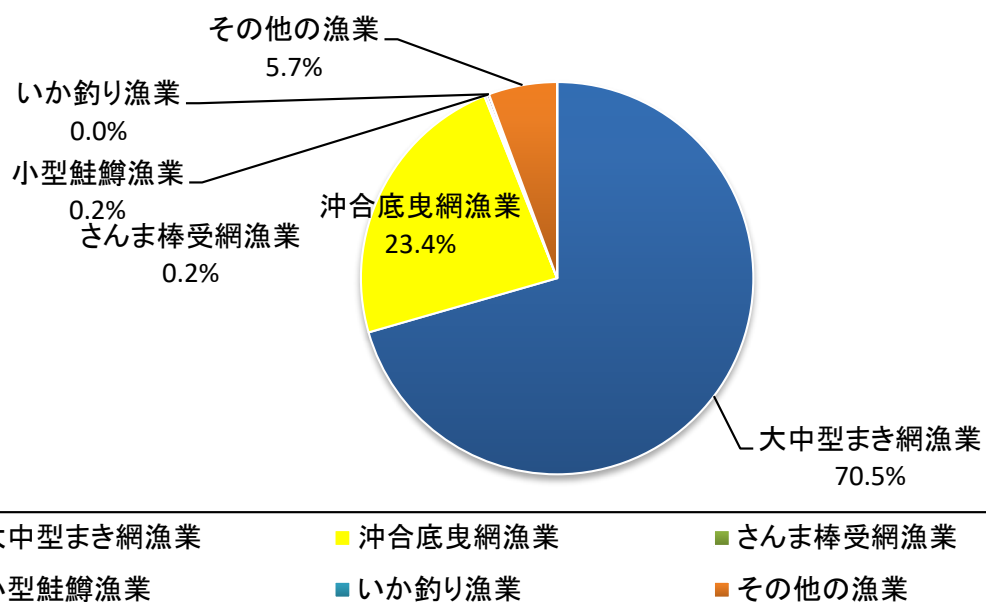
(図-8) 令和5年漁業別取扱数量構成割合(%)



漁業名	数量(トン)
大中型まき網漁業	159,798
沖合底曳網漁業	27,049
さんま棒受網漁業	67
小型鮭鱒漁業	36
いか釣り漁業	
その他の漁業	2,466
計	189,416

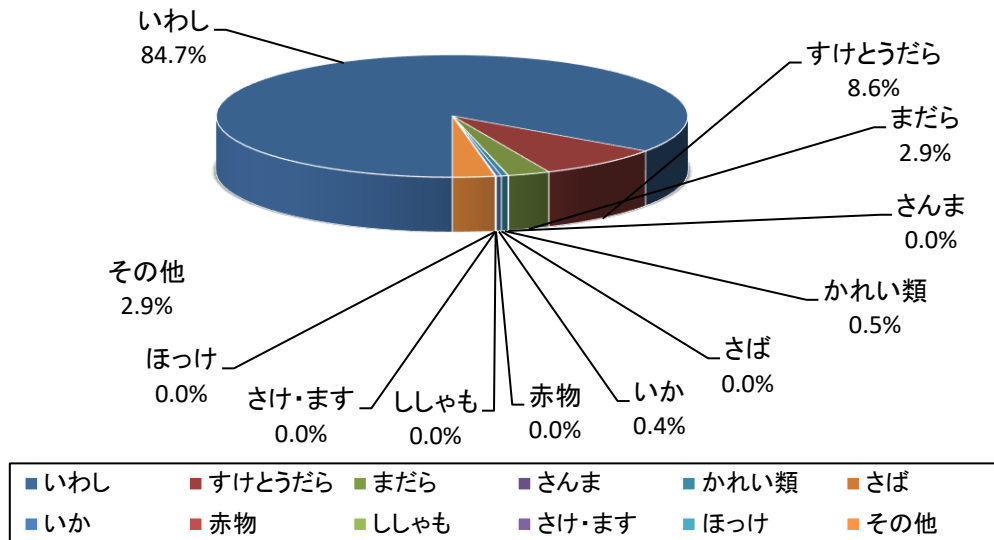
漁業名	金額(千円)
大中型まき網漁業	10,103,900
沖合底曳網漁業	3,352,964
さんま棒受網漁業	27,087
小型鮭鱒漁業	29,872
いか釣り漁業	284
その他の漁業	809,041
計	14,323,148

(図-9) 令和5年漁業別取扱金額構成割合(%)



※小数点以下第2位以下を四捨五入して記載

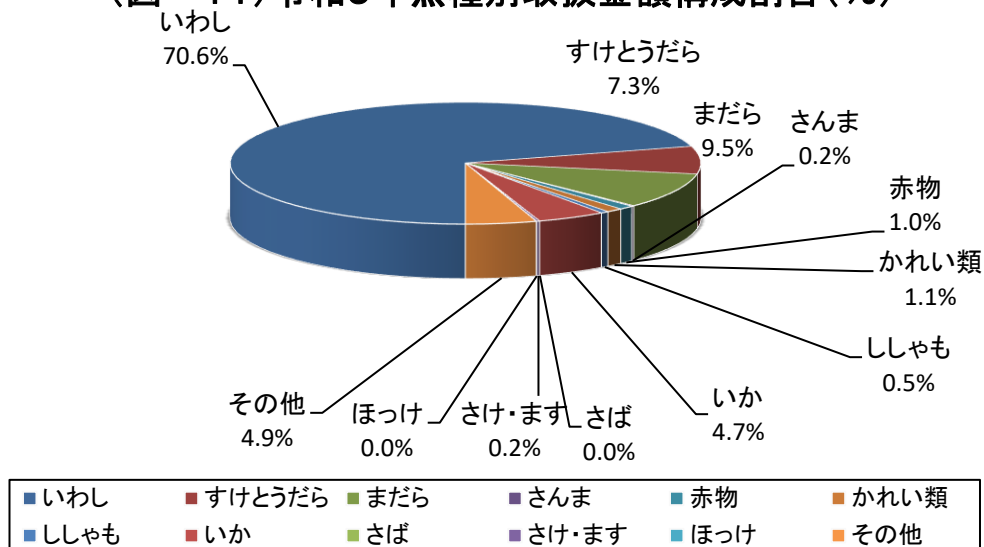
(図-10) 令和5年魚種別取扱数量構成割合(%)



	数量(トン)
い わ し	160,479
す け と う だ ら	16,226
ま だ ら	5,454
さ ん ま	66
か れ い 類	871
さ ば	0
い か	668
赤 物	77
し し や も	29
さ け ・ ま す	36
ほ っ け	14
そ の 他	5,496
合 計	189,416

	金額(千円)
い わ し	10,105,042
す け と う だ ら	1,051,033
ま だ ら	1,355,777
さ ん ま	27,063
赤 物	145,134
か れ い 類	159,809
し し や も	78,156
い か	671,669
さ ば	12
さ け ・ ま す	29,872
ほ っ け	3,699
そ の 他	695,882
合 計	14,323,148

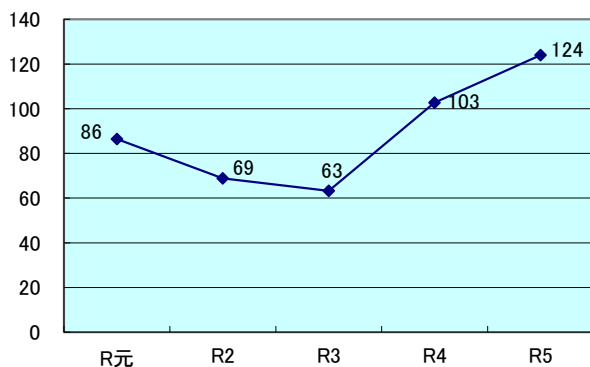
(図-11) 令和5年魚種別取扱金額構成割合(%)



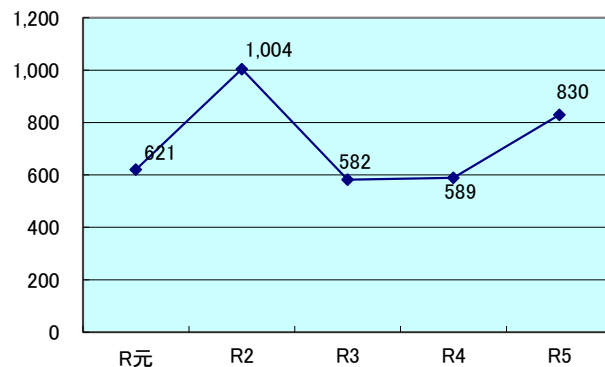
※小数点以下第2位以下を四捨五入して記載

(図-12) 5ヶ年(令和元年～令和5年)主要漁業別平均単価の推移

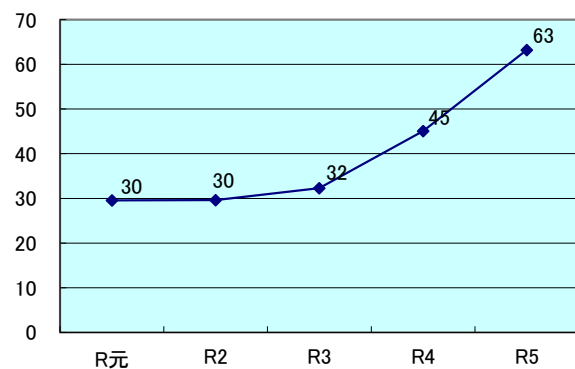
(円) 沖合底曳網漁業



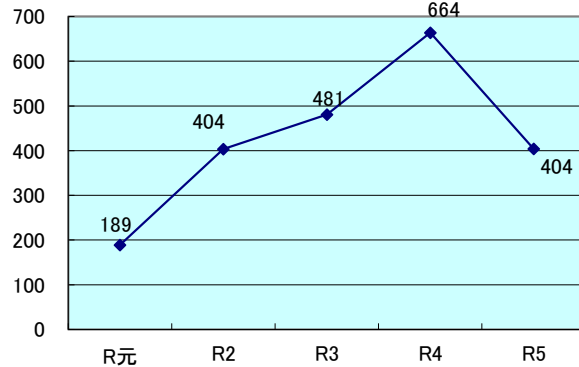
(円) 小型鮭鱒漁業



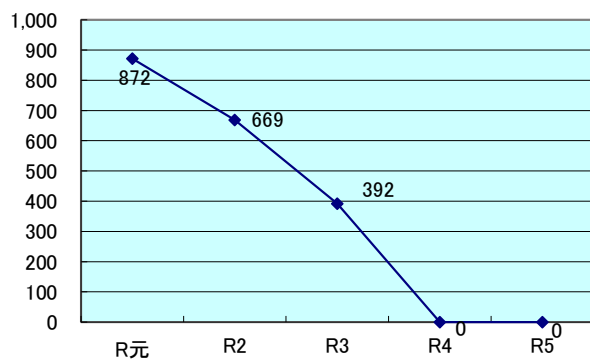
(円) 大中型まき網漁業



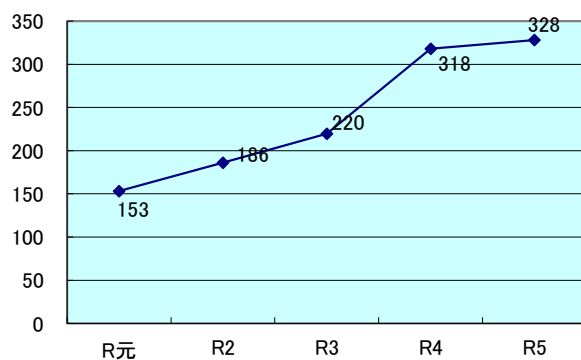
(円) さんま棒受網漁業



(円) いか釣り漁業

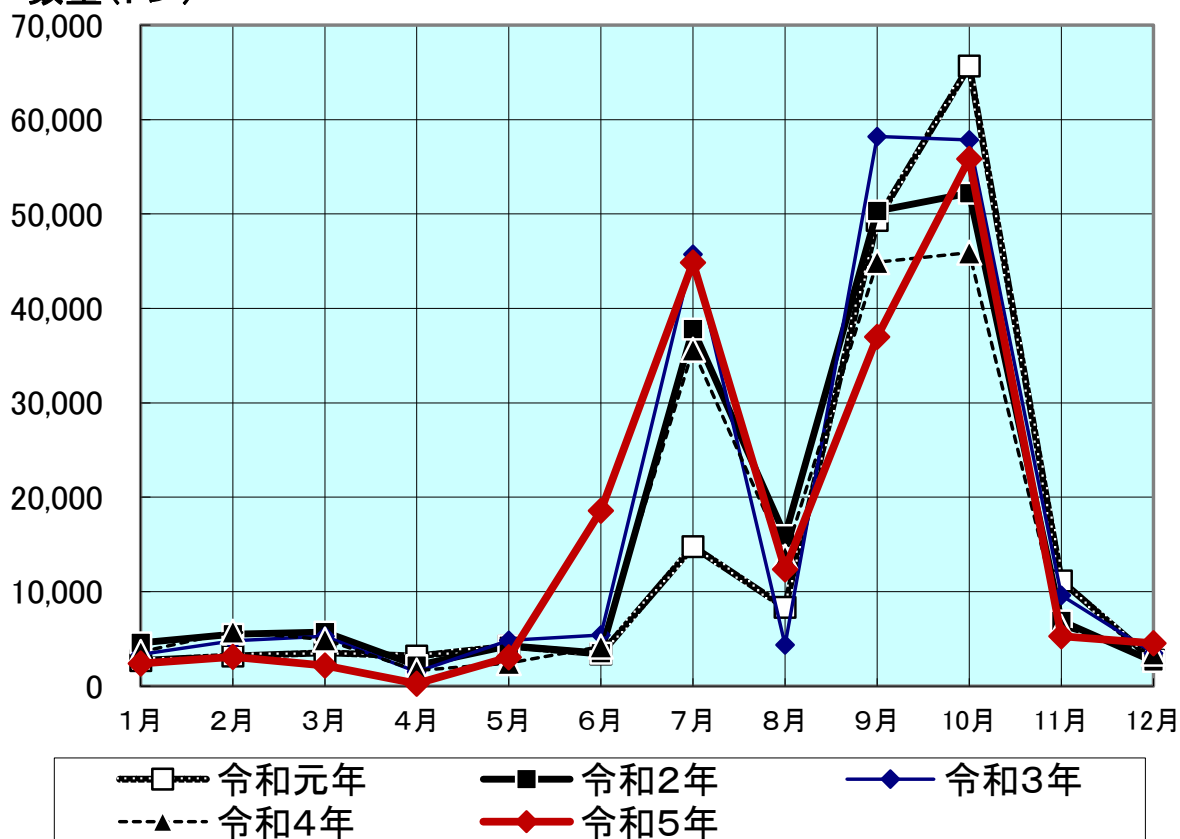


(円) 沿岸漁業・その他

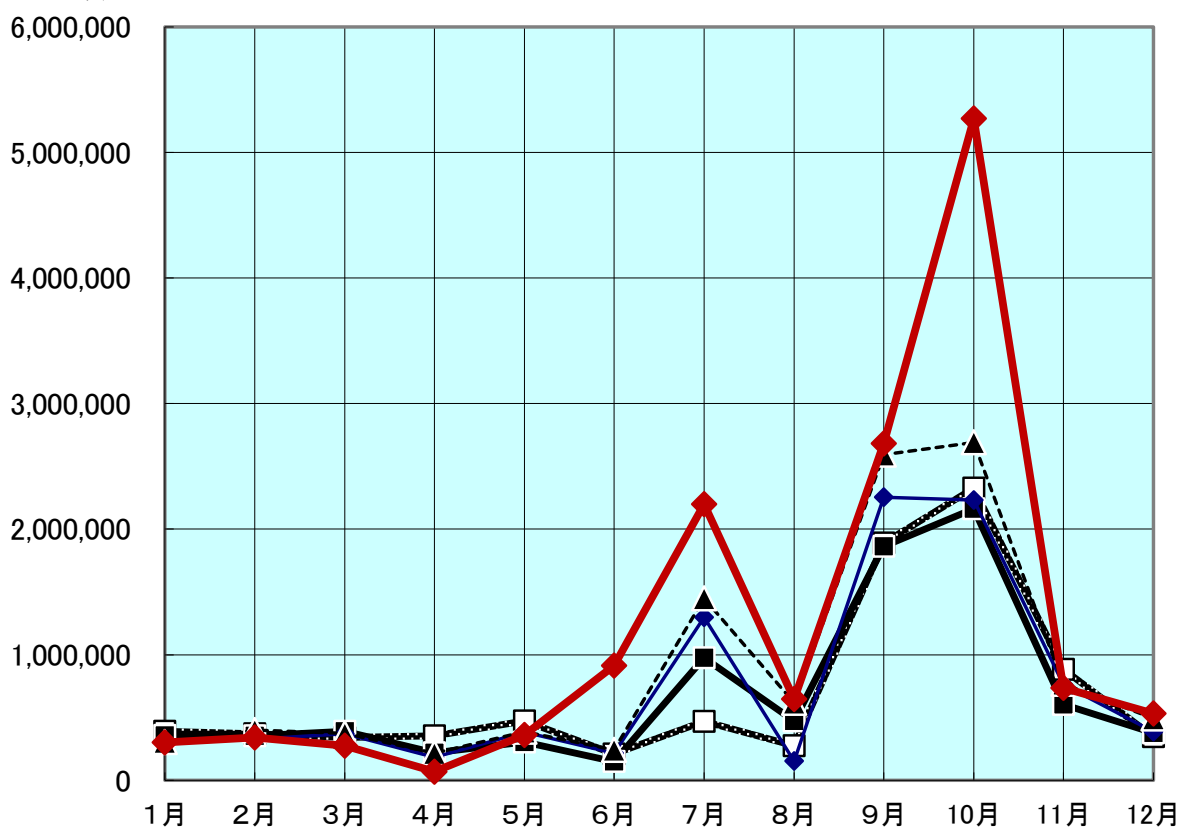


(図-13) 5ヶ年(令和元年～令和5年)月別取扱高の比較

数量(トン)



金額(千円)

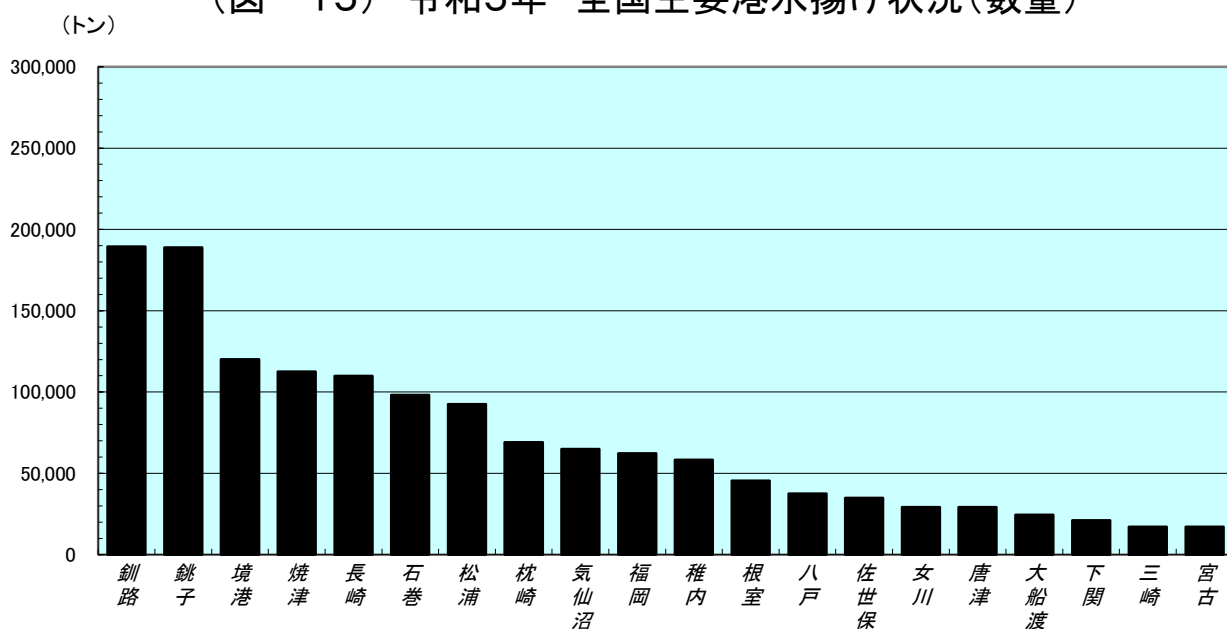


(図－14) 令和5年 漁業別取扱高の前年対比

単位(トン, 千円)

区 分		令和5年		令和4年		増 減		平均単価(円/t)	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	5年	4年
1	沖合底曳網漁業	27,049	3,352,964	35,664	3,663,511	△ 8,615	△ 310,547	124	103
2	小型鮭鱒漁業	36	29,872	76	44,780	△ 40	△ 14,908	830	589
3	大中型まき網漁業	159,798	10,103,900	134,412	6,056,242	25,386	4,047,658	63	45
4	さんま棒受網漁業	67	27,087	25	16,598	42	10,489	404	664
5	いか釣り漁業	0	284	0	164	0	120	0	0
6	さけ定置網漁業	1	40	2	445	△ 1	△ 405	40	223
7	えび桁網漁業	294	85,846	206	73,859	88	11,987	292	359
8	たら刺網漁業	439	179,982	538	107,791	△ 99	72,191	410	200
9	すけそう刺網漁業	0	0	21	1,150	△ 21	△ 1,150	0	55
10	かれい刺網漁業	259	77,380	278	70,369	△ 19	7,011	299	253
11	目抜刺網漁業	0	128	18	1,830	△ 18	△ 1,702	0	102
12	かにかご漁業	13	111,702	14	93,877	△ 1	17,825	8,592	6,706
13	つぶかご漁業	336	66,977	226	66,159	110	818	199	293
14	ししゃも桁網漁業	95	81,475	131	181,969	△ 36	△ 100,494	858	1,389
15	あいなめかご漁業	0	27	0	0	0	27	0	0
16	その他漁業	1,029	205,484	943	158,363	86	47,121	200	168
合 計		189,416	14,323,148	172,554	10,537,107	16,862	3,786,041	76	61

(図-15) 令和5年 全国主要港水揚げ状況(数量)



令和5年 全国主要港水揚げ数量(トン)

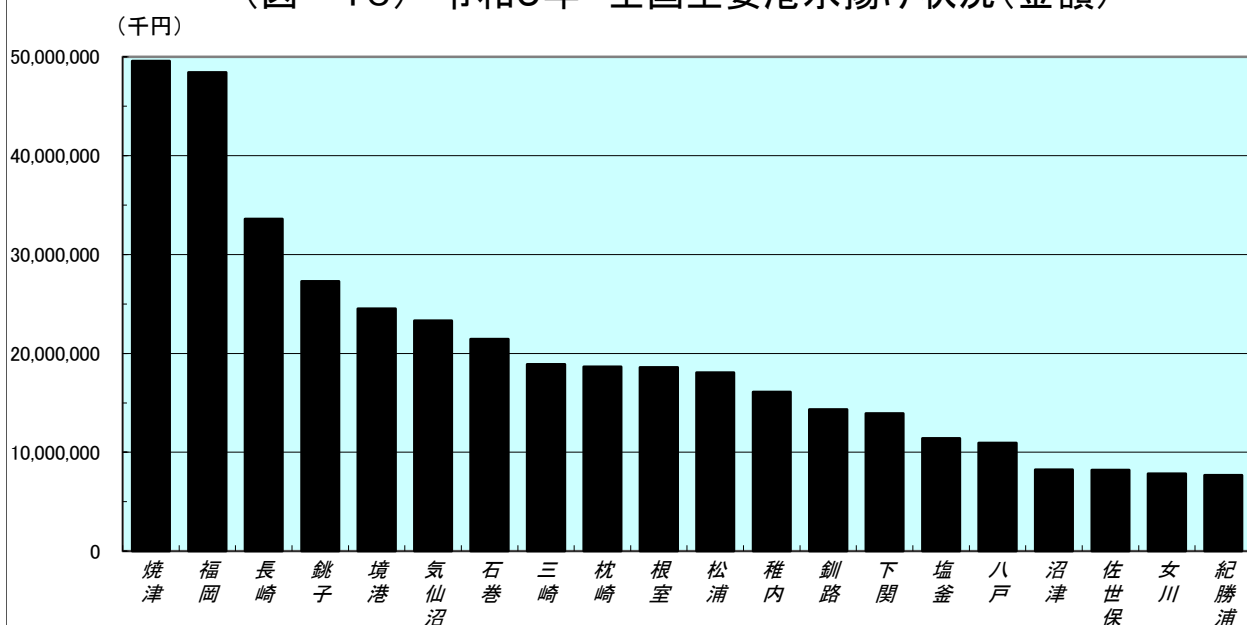
1	釧路	189,416	11	稚内	58,379
2	銚子	188,965	12	根室	45,509
3	境港	120,109	13	八戸	37,606
4	焼津	112,568	14	佐世保	34,905
5	長崎	109,878	15	女川	29,236
6	石巻	98,184	16	唐津	29,158
7	松浦	92,439	17	大船渡	24,513
8	枕崎	69,157	18	下関	21,003
9	気仙沼	65,005	19	三崎	17,144
10	福岡	62,319	20	宮古	17,082

令和5年 全国主要港水揚げ金額(千円)

1	焼津	49,570,425	11	松浦	18,070,767
2	福岡	48,441,273	12	稚内	16,093,952
3	長崎	33,617,158	13	釧路	14,323,148
4	銚子	27,281,035	14	下関	13,942,588
5	境港	24,532,585	15	塩釜	11,400,823
6	気仙沼	23,325,455	16	八戸	10,932,096
7	石巻	21,440,898	17	沼津	8,236,114
8	三崎	18,902,000	18	佐世保	8,202,543
9	枕崎	18,664,582	19	女川	7,836,666
10	根室	18,603,838	20	紀勝浦	7,670,595

情報 時事通信社調べ

(図-16) 令和5年 全国主要港水揚げ状況(金額)



Ⅱ．令和5年

市場取扱高及び推移

1. 漁業別魚種別取扱高①

(単位:kg,円)

区 分	沖合底曳網漁業			小型鮭鱒漁業			大中型まき網漁業			さんま棒受網漁業			いか釣り漁業		
	数 量	金 額	単価	数 量	金 額	単価	数 量	金 額	単価	数 量	金 額	単価	数 量	金 額	単価
1 生 さ け	0	0	0	7,024	15,772,634	2,246	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 生 ま す	0	0	0	28,552	12,832,138	449	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 生 ベ に	0	0	0	467	1,167,743	2,501	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 生 ぎ ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 生すけ・てつ	0	0	0	58	99,762	1,720	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 塩 さ け	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 塩 ま す	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 塩 ベ に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 塩 ぎ ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 塩すけ・てつ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 ま ぐ ろ 類	0	0	0	0	0	0	32,460	41,730,120	1,286	0	0	0	0	0	0
12 い か	667,751	671,377,039	1,005	0	0	0	0	0	0	0	0	0	235	283,824	1,208
13 さ ん ま	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66,416	27,063,050	407	0	0	0
14 さ ば	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 すけとうだら	16,036,621	1,042,141,898	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16 ま だ ら	4,751,106	1,093,410,202	230	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17 き ち じ	53,164	105,526,196	1,985	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18 きんきん・目抜	2,408	4,995,907	2,075	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19 赤 魚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 ば ば が れ い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 宗 八 が れ い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22 あさばがれい	143,995	40,030,057	278	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23 油 が れ い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24 柳 が れ い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25 さ め が れ い	63,594	11,097,294	175	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26 お ひ ょ う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27 その他かれい	573,027	72,739,027	127	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28 ほ っ け	12,944	3,449,948	267	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29 か じ か	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30 こ ま い	3,945,765	126,603,261	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31 は た は た	17,131	17,496,837	1,021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 い わ し	0	0	0	0	0	0	159,766,033	10,062,169,902	63	400	23,760	59	0	0	0
33 あ ぶ ら こ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34 た こ	33,528	26,685,637	796	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35 か に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36 つ ぶ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37 し し ゃ も	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38 き ゅ う り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39 そ の 他	748,284	137,411,067	184	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	27,049,318	3,352,964,370	124	36,101	29,872,277	827	159,798,493	10,103,900,022	63	66,816	27,086,810	405	235	283,824	1,208

1. 漁業別魚種別取扱高②

(単位:kg,円)

区 分	さけ定置網漁業			えび桁網漁業			たら刺網漁業			すけそう刺網漁業			かれい刺網漁業		
	数 量	金 額	単価	数 量	金 額	単価	数 量	金 額	単価	数 量	金 額	単価	数 量	金 額	単価
1 生 さ け	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 生 ま す	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 生 ベ に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 生 ぎ ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 生すけ・てつ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 塩 さ け	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 塩 ま す	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 塩 ベ に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 塩 ぎ ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 塩すけ・てつ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 ま ぐ ろ 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 い か	0	0	0	96	6,599	69	36	1,281	36	0	0	0	0	0	0
13 さ ん ま	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14 さ ば	0	0	0	2	43	22	154	2,793	18	0	0	0	6	106	18
15 すけとうだら	1	29	29	109,899	4,997,173	45	33,301	1,656,115	50	0	0	0	7,609	283,895	37
16 ま だ ら	20	2,925	146	67,888	21,099,487	311	392,846	170,607,594	434	0	0	0	227,054	64,243,606	283
17 き ち じ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18 きんきん・目抜	0	0	0	21,684	34,387,477	1,586	5	5,223	1,045	0	0	0	23	46,954	2,041
19 赤 魚	0	0	0	0	0	0	1	310	310	0	0	0	1	16	16
20 ば ば が れ い	2	2,754	1,377	409	395,042	966	4,363	5,797,497	1,329	0	0	0	6,127	8,286,135	1,352
21 宗 八 が れ い	0	7	0	79	6,937	88	1,205	37,176	31	0	0	0	2,548	334,876	131
22 あさばがれい	0	0	0	1,381	441,263	320	387	24,661	64	0	0	0	628	59,644	95
23 油 が れ い	0	0	0	31,036	8,576,468	276	123	3,742	30	0	0	0	101	7,637	76
24 柳 が れ い	0	0	0	874	308,651	353	145	22,107	152	0	0	0	134	39,453	294
25 さめがれい	0	0	0	12,045	2,317,726	192	965	93,791	97	0	0	0	345	38,867	113
26 お ひ よ う	1	19	19	733	367,116	501	320	150,397	470	0	0	0	155	85,025	549
27 その他かれい	449	10,914	24	10,087	2,586,613	256	1,558	554,052	356	0	0	0	8,218	3,344,283	407
28 ほ っ け	0	0	0	985	151,079	153	302	91,276	302	0	0	0	38	3,366	89
29 か じ か	171	3,034	18	2	143	72	259	5,226	20	0	0	0	10	360	36
30 こ ま い	5	85	17	12,989	407,301	31	168	4,450	26	0	0	0	43	1,035	24
31 は た は た	0	0	0	3	875	292	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 い わ し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
33 あ ぶ ら こ	0	0	0	1	39	39	16	537	34	0	0	0	38	1,766	46
34 た こ	0	0	0	2,890	2,097,128	726	326	201,619	618	0	0	0	184	122,742	667
35 か に	0	0	0	127	52,493	413	3	10,368	3,456	0	0	0	0	0	0
36 つ ぶ	0	0	0	111	44,942	405	469	71,194	152	0	0	0	304	105,247	346
37 し し や も	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38 き ゆ う り	0	0	0	0	0	0	4	50	13	0	0	0	4	123	31
39 そ の 他	265	20,052	76	20,553	7,600,986	370	1,606	640,411	399	0	0	0	4,984	374,583	75
合 計	914	39,819	44	293,874	85,845,581	292	438,562	179,981,870	410	0	0	0	258,554	77,379,722	299

1. 漁業別魚種別取扱高③

(単位:kg,円)

区 分	目 抜 刺 網 漁 業			か にか ご 漁 業			つ ぶ か ご 漁 業			し し や も 桁 網 漁 業			あ い な め か ご 漁 業		
	数 量	金 額	単 価	数 量	金 額	単 価	数 量	金 額	単 価	数 量	金 額	単 価	数 量	金 額	単 価
1 生 さ け	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 生 ま す	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 生 べ に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 生 ぎ ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 生 す け ・ て つ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 塩 さ け	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 塩 ま す	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 塩 べ に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 塩 ぎ ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 塩 す け ・ て つ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 ま ぐ ろ 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 い か	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13 さ ん ま	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14 さ ば	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 す け とう だ ら	66	3,778	57	13	491	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16 ま だ ら	316	121,435	384	19	1,469	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17 き ち じ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18 きんきん・目 抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19 赤 魚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 ば ば が れ い	2	691	346	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	16,354	1,022
21 宗 八 が れ い	2	55	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22 あ さ ば が れ い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23 油 が れ い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24 柳 が れ い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25 さ め が れ い	3	97	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26 お ひ よ う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	130	43	0	0	0
27 そ の 他 か れ い	0	56	0	0	0	0	0	0	0	3,177	1,045,970	329	1	59	59
28 ほ っ け	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29 か じ か	0	0	0	0	0	0	0	0	0	363	15,495	43	6	113	19
30 こ ま い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,711	378,230	66	0	0	0
31 は た は た	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	16,546	571	0	0	0
32 い わ し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 あ ぶ ら こ	0	0	0	0	0	0	15	1,352	90	0	0	0	134	7,664	57
34 た こ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35 か に	0	0	0	13,254	111,699,000	8,428	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36 つ ぶ	0	0	0	0	0	0	333,536	66,951,377	201	0	0	0	4	216	54
37 し し や も	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29,184	78,058,534	2,675	0	0	0
38 き ゆ う り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,413	156,226	111	0	0	0
39 そ の 他	5	1,840	368	10	1,080	108	2,285	24,678	11	54,960	1,804,261	33	57	2,902	51
合 計	394	127,952	325	13,296	111,702,040	8,401	335,836	66,977,407	199	94,840	81,475,392	859	218	27,308	125

1. 漁業別魚種別取扱高④

(単位:kg,円)

区 分	その他漁業			合 計		
	数 量	金 額	単価	数 量	金 額	単価
1 生 さ け	0	0	0	7,024	15,772,634	2,246
2 生 ま す	0	0	0	28,552	12,832,138	449
3 生 ベ に	0	0	0	467	1,167,743	2,501
4 生 ぎ ん	0	0	0	0	0	0
5 生 すけ・てつ	0	0	0	58	99,762	1,720
6 塩 さ け	0	0	0	0	0	0
7 塩 ま す	0	0	0	0	0	0
8 塩 ベ に	0	0	0	0	0	0
9 塩 ぎ ん	0	0	0	0	0	0
10 塩すけ・てつ	0	0	0	0	0	0
11 ま ぐ ろ 類	60,773	70,999,935	1,168	93,233	112,730,055	1,209
12 い か	0	0	0	668,118	671,668,743	1,005
13 さ ん ま	0	0	0	66,416	27,063,050	407
14 さ ば	96	9,442	98	258	12,384	48
15 すけとうだら	38,119	1,949,127	51	16,225,629	1,051,032,506	65
16 ま だ ら	14,630	6,290,528	430	5,453,879	1,355,777,246	249
17 き ち じ	0	9	0	53,164	105,526,205	1,985
18 きんきん・目抜	69	172,003	2,493	24,189	39,607,564	1,637
19 赤 魚	0	0	0	2	326	163
20 ば ば が れ い	246	286,797	1,166	11,165	14,785,270	1,324
21 宗 八 が れ い	224	32,324	144	4,058	411,375	101
22 あさばがれい	284	37,873	133	146,675	40,593,498	277
23 油 が れ い	96	9,143	95	31,356	8,596,990	274
24 柳 が れ い	27	5,616	208	1,180	375,827	318
25 さ め が れ い	240	26,890	112	77,192	13,574,665	176
26 お ひ ょ う	181	63,815	353	1,393	666,502	478
27 その他かれい	1,172	524,202	447	597,689	80,805,176	135
28 ほ っ け	26	3,124	120	14,295	3,698,793	259
29 か じ か	0	7	0	811	24,378	30
30 こ ま い	34,882	2,109,373	60	3,999,563	129,503,735	32
31 は た は た	344	341,938	994	17,507	17,856,196	1,020
32 い わ し	712,622	42,848,366	60	160,479,055	10,105,042,031	63
33 あ ぶ ら こ	0	0	0	204	11,358	56
34 た こ	60	43,870	731	36,988	29,150,996	788
35 か に	0	0	0	13,384	111,761,861	8,350
36 つ ぶ	4,852	5,010,188	1,033	339,276	72,183,164	213
37 し し や も	113	97,416	862	29,297	78,155,950	2,668
38 き ゅ う り	31	2,853	92	1,452	159,252	110
39 そ の 他	159,855	74,618,652	467	992,864	222,500,512	224
合 計	1,028,942	205,483,491	200	189,416,393	14,323,147,885	76

2. 漁業別月別水揚げ回数

(単位: 隻)

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計	令和4年	増 減
													計	計	
1 沖合底曳網漁業	72	71	87	54	107				129	191	108	108	927	987	△ 60
2 小型鮭鱒漁業				1	7	3							11	17	△ 6
3 大中型まき網漁業						88	229	90	242	351	11		1,011	981	30
4 さんま棒受網漁業									14	17			31	7	24
5 いか釣り漁業								2					2	4	△ 2
6 さけ定置網漁業									20	13			33	13	20
7 えび桁網漁業			10	6	11	10	10	8	10	8	5	5	83	84	△ 1
8 たら刺網漁業	116	76	67							123	98	8	488	490	△ 2
9 すけそう刺網漁業													0	34	△ 34
10 かれい刺網漁業				12	8	31	34	10	1	3	41	147	287	284	3
11 目抜刺網漁業	1												1	29	△ 28
12 かにかご漁業	21											53	74	123	△ 49
13 つぶかご漁業				32	64	63	80	50	55	37			381	392	△ 11
14 ししゃも桁網漁業											166		166	180	△ 14
15 あいなめかご漁業										4	4	3	11	0	11
16 その他漁業	83	51	48	25	22	44	55	10	38	95	10	65	546	367	179
合 計	293	198	212	130	219	239	408	170	509	842	443	389	4,052	3,992	60

3. 釧路市魚揚場開設以来市場別取扱高①

(単位:kg,円)

	合 計		釧路魚市場株式会社		釧路市漁協地方卸売市場		丸釧魚卸売市場		道漁連魚卸売市場	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
昭和24年(6～12月)	34,008,225	544,186,710	15,830,494	226,030,710	12,306,675	209,674,220	5,871,056	108,481,780		
昭和 25年	37,764,960	646,953,752	19,660,331	444,168,613	12,494,336	144,898,582	5,610,293	57,886,557		
26年	44,617,838	854,061,459	32,559,473	629,719,514	11,753,895	217,204,342	304,470	7,137,603		
27年	36,942,634	1,020,568,134	27,553,789	782,510,411	9,380,198	237,910,189	8,647	147,534		
28年	39,366,627	1,449,630,521	26,840,445	1,129,924,496	8,636,558	247,233,365	3,889,624	72,472,660		
29年	40,795,275	1,665,410,365	26,873,441	1,291,173,212	9,263,621	246,346,538	4,658,213	127,890,615		
30年	59,422,658	2,412,064,837	38,924,970	1,655,262,681	13,548,293	535,550,572	6,949,395	221,251,584		
31年	85,367,033	2,473,103,093	48,516,608	1,543,613,454	24,315,244	621,496,069	12,535,181	307,993,570		
32年	87,654,195	3,464,751,833	54,966,953	2,176,244,162	23,662,301	930,908,500	9,024,941	357,599,171		
33年	108,669,169	3,375,655,012	63,525,994	2,084,626,275	33,762,379	998,024,113	11,380,796	293,004,624		
34年	128,706,412	4,287,248,276	68,012,395	2,226,192,898	34,649,997	1,103,942,186	26,044,020	957,113,192		
35年	124,277,753	5,270,108,200	69,640,685	2,471,637,971	29,958,246	1,419,490,844	24,678,822	1,378,979,385		
36年	135,549,054	7,750,293,469	62,530,614	2,895,276,360	44,716,582	2,436,997,957	28,301,858	2,418,019,152		
37年	185,264,545	7,220,617,355	65,689,019	2,551,287,432	82,734,510	2,684,684,010	36,841,016	1,984,645,913		
38年	178,100,157	9,994,749,322	76,398,052	3,441,344,414	74,360,697	4,058,429,362	27,341,408	2,494,975,546		
39年	154,404,350	9,000,179,668	80,890,965	3,592,695,513	55,322,994	3,533,927,783	16,808,479	1,802,403,169	1,381,912	71,153,203
40年	226,356,513	12,541,866,093	107,801,492	5,539,100,410	116,966,909	6,920,447,714			1,588,112	82,317,969
41年	222,616,723	13,847,300,942	129,112,210	6,758,465,637	93,504,513	7,088,835,305				
42年	276,490,762	15,456,400,298	153,776,792	6,940,623,667	122,713,970	8,515,776,631				
43年	411,335,262	17,709,518,949	250,526,526	8,974,763,758	160,808,736	8,734,755,191	(注)・丸釧魚卸売市場は、道漁連魚卸売市場に			
44年	524,174,397	24,423,123,251	349,934,924	12,725,596,117	174,239,473	11,697,527,134	卸売業務を譲り廃業。			
45年	593,410,293	26,002,241,577	353,683,827	13,296,359,020	239,726,466	12,705,882,557	・道漁連魚卸売市場は、昭和41年4月より			
46年	565,562,115	27,802,502,650	366,868,255	13,362,540,852	198,693,860	14,439,961,798	釧路市漁協卸売市場と業務提携。			
47年	679,884,338	30,832,311,062	435,767,852	15,339,187,282	244,116,486	15,493,123,780				
48年	885,726,595	46,692,493,328	567,004,015	24,449,743,917	318,722,580	22,242,749,411				
49年	890,466,264	42,803,211,044	586,480,322	22,373,362,249	303,985,942	20,429,848,795				
50年	809,241,040	53,540,159,709	513,452,539	24,883,513,681	295,788,501	28,656,646,028				
51年	893,117,874	68,282,827,150	556,986,564	31,550,406,263	336,131,310	36,732,420,887				
52年	890,043,160	88,179,397,974	430,305,048	40,588,726,453	459,738,112	47,590,671,521				
53年	652,814,343	60,318,442,864	294,088,954	29,664,300,074	358,725,389	30,654,142,790				
54年	727,354,434	68,457,889,385	293,930,982	30,539,053,315	433,423,452	37,918,836,070				
55年	685,421,152	70,103,196,492	311,539,299	33,160,102,303	373,881,853	36,943,094,189				

3. 釧路市魚揚場開設以来市場別取扱高②

(単位:kg,円)

	合 計		釧路魚市場株式会社		釧路市漁協地方卸売市場	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
昭和 56年	795,805,316	74,645,095,146	320,228,451	34,178,659,980	475,576,865	40,466,435,166
57年	864,899,667	78,583,717,076	336,141,301	38,335,159,378	528,758,366	40,248,557,698
58年	1,120,441,002	82,784,620,005	443,275,325	38,414,878,153	677,165,677	44,369,741,852
59年	1,227,052,284	75,052,151,996	536,192,187	37,190,256,397	690,860,097	37,861,895,599
60年	1,117,613,921	68,386,298,944	431,376,801	35,114,539,048	686,237,120	33,271,759,896
61年	1,129,275,679	58,688,687,589	481,373,432	35,609,361,090	647,902,247	23,079,326,499
62年	1,333,636,416	52,890,089,361	527,297,597	27,664,591,454	806,338,819	25,225,497,907
63年	1,269,577,397	56,481,038,723	563,718,377	31,368,661,779	705,859,020	25,112,376,944
平成 元 年	962,455,821	46,416,238,438	433,996,370	27,423,293,523	528,459,451	18,992,944,915
2年	934,594,938	47,833,241,957	344,772,573	23,426,200,389	589,822,365	24,407,041,568
3年	792,166,831	58,292,413,590	358,901,820	36,062,206,891	433,265,011	22,230,206,699
4年	384,449,311	48,297,657,302	231,155,512	29,819,174,925	153,293,799	18,478,482,377
5年	237,669,623	35,686,308,343	170,846,262	20,929,010,589	66,823,361	14,757,297,754
6年	255,123,591	35,779,139,089	201,472,843	22,767,300,296	53,650,748	13,011,838,793
7年	209,809,245	30,626,607,938	156,419,814	19,781,246,335	53,389,431	10,845,361,603
8年	175,761,987	26,162,628,771	135,221,164	16,796,622,015	40,540,823	9,366,006,756
9年	190,507,516	27,372,489,119	144,300,858	16,898,712,802	46,206,658	10,473,776,317
10年	213,144,670	23,238,272,353	157,273,414	13,831,775,927	55,871,256	9,406,496,426
11年	212,149,913	26,264,730,270	158,316,693	15,734,686,077	53,833,220	10,530,044,193
12年	179,991,805	21,985,086,945	140,951,944	14,056,689,797	39,039,861	7,928,397,148
13年	124,028,060	17,062,545,523	89,129,056	10,788,829,952	34,899,004	6,273,715,571
14年	149,017,007	18,919,418,021	91,437,929	11,485,864,052	57,579,078	7,433,553,969
15年	158,398,986	13,696,004,479	123,897,606	8,813,001,170	34,501,380	4,883,003,309
16年	155,782,078	14,239,952,444	111,022,929	9,299,504,458	44,759,149	4,940,447,986
17年	114,576,272	11,911,833,826	78,874,776	7,470,597,033	35,701,496	4,441,236,793
18年	137,948,321	14,562,956,788	95,556,344	9,587,560,635	42,391,977	4,975,396,153
19年	107,569,355	12,723,108,527	76,072,549	8,071,184,512	31,496,806	4,651,924,015
20年	125,678,122	15,281,219,764	96,484,477	11,052,562,075	29,193,645	4,228,657,689
21年	128,053,114	12,154,590,081	91,623,779	7,488,037,233	36,429,335	4,666,552,848
22年	113,990,122	11,357,762,042	78,386,234	7,194,162,960	35,603,888	4,163,599,082
23年	119,640,777	9,969,801,074	89,286,077	6,366,665,956	30,354,700	3,603,135,118
24年	110,258,405	8,839,452,647	81,650,091	5,733,249,760	28,608,314	3,106,202,887
25年	110,668,228	9,021,716,410	83,040,338	5,696,154,211	27,627,890	3,325,562,199
26年	130,570,947	12,777,793,722	90,531,083	7,822,330,817	40,039,864	4,955,462,905
27年	114,977,021	12,142,655,273	84,661,675	8,048,672,010	30,315,346	4,093,983,263
28年	114,207,032	10,099,228,554	79,304,169	6,452,849,347	34,902,863	3,646,379,207
29年	139,678,159	10,203,666,578	89,101,150	6,496,975,241	50,577,009	3,706,691,337
30年	121,878,214	8,238,832,095	74,080,268	5,275,244,132	47,797,946	2,963,587,963
令和 元 年	172,267,965	8,330,487,406	90,012,469	5,016,823,684	82,255,496	3,313,663,722
2 年	191,635,495	8,227,252,527	110,768,935	5,217,701,109	80,866,560	3,009,551,418
3 年	204,499,017	8,860,949,316	105,280,632	4,931,725,483	99,218,385	3,929,223,833
4 年	172,554,010	10,537,107,075	82,517,847	5,656,819,176	90,036,163	4,880,287,899
5 年	189,416,393	14,323,147,885	73,054,286	6,263,541,668	116,362,107	8,059,606,217

4. 5カ年(令和元年～令和5年)漁業別取扱高

(単位:kg,円)

区 分		令 和 元 年		令 和 2 年		令 和 3 年		令 和 4 年		令 和 5 年	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
1	沖合底曳網漁業	39,008,639	3,369,394,810	46,929,037	3,231,561,786	50,813,690	3,213,140,884	35,664,138	3,663,511,291	27,049,318	3,352,964,370
2	小型鮭鱒漁業	50,942	31,651,136	21,803	22,090,821	48,214	27,933,907	76,402	44,780,275	36,101	29,872,277
3	大中型まき網漁業	125,769,138	3,716,828,788	141,037,050	4,173,991,128	150,296,843	4,856,173,626	134,412,293	6,056,241,964	159,798,493	10,103,900,022
4	さんま棒受網漁業	1,656,244	313,173,978	159,581	64,575,780	115,656	55,741,100	24,717	16,597,613	66,816	27,086,810
5	いか釣り漁業	18,275	15,688,566	178,369	119,043,936	620	392,472	200	164,484	235	283,824
6	さけ定置網漁業	56,653	1,854,884	14,380	499,172	9,204	324,819	1,779	444,867	914	39,819
7	えび桁網漁業	131,293	88,094,873	156,473	72,383,746	195,591	68,397,263	205,675	73,859,358	293,874	85,845,581
8	たら刺網漁業	288,129	85,307,358	211,854	50,137,186	695,837	120,129,742	537,622	107,791,317	438,562	179,981,870
9	すけそう刺網漁業	64,799	8,779,488	11,170	1,938,227	2,628	279,606	20,862	1,149,831	0	0
10	かれい刺網漁業	242,226	62,380,874	178,711	51,542,743	281,055	74,908,424	278,187	70,369,097	258,554	77,379,722
11	目抜刺網漁業	26,841	3,005,262	686	9,641	1,594	138,294	18,038	1,829,879	394	127,952
12	かにかご漁業	32,855	183,963,528	27,295	154,367,759	17,104	125,301,027	14,140	93,876,754	13,296	111,702,040
13	つぶかご漁業	269,084	56,801,321	296,824	59,418,276	307,441	47,869,564	225,925	66,159,378	335,836	66,977,407
14	ししゃも桁網漁業	131,942	96,413,251	100,499	81,041,738	132,784	164,841,107	130,888	181,968,873	94,840	81,475,392
15	あいなめかご漁業	203	33,364	715	104,362	456	128,357	0	0	218	27,308
16	その他漁業	4,520,702	297,115,925	2,311,048	144,546,226	1,580,300	105,249,124	943,144	158,362,094	1,028,942	205,483,491
合 計		172,267,965	8,330,487,406	191,635,495	8,227,252,527	204,499,017	8,860,949,316	172,554,010	10,537,107,075	189,416,393	14,323,147,885

5. 5力年(令和元年～令和5年)月別取扱高

(単位:kg,円)

区分	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
1月	2,720,241	390,003,221	4,579,919	357,035,757	3,376,267	298,145,926	3,641,235	303,114,287	2,396,670	300,613,232
2月	3,190,744	371,501,079	5,513,001	353,221,302	4,804,217	328,040,820	5,763,493	399,780,685	3,083,931	342,080,471
3月	3,517,622	340,282,409	5,729,778	389,694,475	5,265,031	369,562,038	4,933,174	373,978,756	2,161,230	274,414,929
4月	3,191,450	354,262,727	2,190,675	220,850,408	1,513,405	183,597,661	1,646,440	215,543,118	271,867	69,591,217
5月	4,249,078	471,054,368	4,288,188	305,006,793	4,827,697	383,048,595	2,438,999	386,681,787	3,056,890	359,398,226
6月	3,398,712	210,570,326	3,493,688	148,941,045	5,419,077	214,574,122	4,191,335	243,347,575	18,594,343	912,375,663
7月	14,767,664	469,402,389	37,807,039	975,371,532	45,748,219	1,297,478,134	35,649,023	1,450,655,740	44,845,702	2,197,722,362
8月	8,333,156	275,022,664	15,963,973	471,596,863	4,376,507	151,961,465	13,733,643	617,945,959	12,370,000	646,295,658
9月	49,317,730	1,891,367,467	50,332,551	1,863,583,984	58,208,378	2,254,232,112	44,896,973	2,594,213,310	36,990,485	2,682,841,513
10月	65,683,178	2,326,326,003	52,207,905	2,162,495,714	57,838,804	2,230,753,364	45,905,242	2,690,544,579	55,833,306	5,268,803,841
11月	11,138,909	884,502,870	6,917,864	602,496,670	9,615,516	763,097,036	6,295,459	769,799,491	5,283,160	736,369,204
12月	2,759,481	346,191,883	2,610,914	376,957,984	3,505,899	386,458,043	3,458,994	491,501,788	4,528,809	532,641,569
合計	172,267,965	8,330,487,406	191,635,495	8,227,252,527	204,499,017	8,860,949,316	172,554,010	10,537,107,075	189,416,393	14,323,147,885

6. 5カ年(令和元年～令和5年)魚種別取扱高

(単位:kg,円)

区 分	令和元年			令和2年			令和3年			令和4年			令和5年		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
1 生 さ け	9,401	16,115,545	1,714	14,831	18,990,292	1,280	5,569	10,500,793	1,886	4,260	8,805,462	2,067	7,024	15,772,634	2,246
2 生 ま す	41,604	15,564,820	374	6,745	2,544,815	377	42,564	17,181,712	404	71,480	33,156,402	464	28,552	12,832,138	449
3 生 ベ に	0	0	0	227	555,714	2,448	65	237,632	3,656	795	2,934,144	3,691	467	1,167,743	2,501
4 生 ぎ ん	0	0	0	1	21	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 生 すけ・てつ	0	0	0	1	17	17	16	13,770	861	21	20,952	998	58	99,762	1,720
6 塩 さ け	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 塩 ま す	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 塩 ベ に	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 塩 ぎ ん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 塩 すけ・てつ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 ま ぐ ろ 類	1,510	349,963	232	1,855	2,966,706	1,599	11,434	12,257,622	1,072	46,689	63,558,820	1,361	93,233	112,730,055	1,209
12 い か	111,693	58,727,819	526	501,817	275,386,795	549	41,491	11,631,377	280	473,267	386,661,885	817	668,118	671,668,743	1,005
13 さ ん ま	1,278,699	298,619,106	234	151,664	64,457,637	425	115,056	55,722,956	484	24,517	16,589,405	677	66,416	27,063,050	407
14 さ ば	422,802	56,194,612	133	229,622	40,765,132	178	50,738	5,330,239	105	220,623	12,152,991	55	258	12,384	48
15 すけとうだら	30,987,398	1,780,141,227	57	39,445,652	1,736,823,217	44	44,724,092	1,959,976,233	44	28,536,834	1,712,118,151	60	16,225,629	1,051,032,506	65
16 ま だ ら	6,023,996	1,196,730,982	199	6,298,636	1,115,468,822	177	6,009,014	1,068,581,474	178	5,668,989	1,319,678,364	233	5,453,879	1,355,777,246	249
17 き ち じ	62,993	104,789,053	1,664	27,488	45,916,917	1,670	54,659	99,757,308	1,825	52,561	93,601,430	1,781	53,164	105,526,205	1,985
18 きんきん・目抜	32,283	67,763,835	2,099	22,212	40,770,158	1,836	22,194	42,137,151	1,899	22,662	44,071,839	1,945	24,189	39,607,564	1,637
19 赤 魚	12	8,485	707	12	4,416	368	13	5,683	437	8	1,282	160	2	326	163
20 ば ば が れ い	51,784	40,165,331	776	51,405	45,756,815	890	40,581	38,206,031	941	23,944	28,853,104	1,205	11,165	14,785,270	1,324
21 宗 八 が れ い	4,328	171,210	40	10,719	913,094	85	3,078	259,623	84	2,434	205,776	85	4,058	411,375	101
22 あさばがれい	34,471	7,044,254	204	40,559	10,586,991	261	59,183	15,531,009	262	200,996	52,111,863	259	146,675	40,593,498	277
23 油 が れ い	28,239	8,720,572	309	28,839	11,327,599	393	17,609	5,433,187	309	25,142	6,539,254	260	31,356	8,596,990	274
24 柳 が れ い	2,989	934,370	313	7,300	2,683,104	368	2,482	891,247	359	2,360	937,785	397	1,180	375,827	318
25 さ め が れ い	30,602	5,034,563	165	44,543	8,930,607	200	35,582	12,233,724	344	58,767	10,983,015	187	77,192	13,574,665	176
26 お ひ よ う	711	724,947	1,020	1,032	822,649	797	601	507,350	844	884	400,191	453	1,393	666,502	478
27 その他かれい	437,400	78,583,178	180	213,375	47,949,128	225	163,973	44,432,709	271	166,277	38,476,017	231	597,689	80,805,176	135
28 ほ っ け	34,737	16,180,948	466	550,854	66,583,775	121	166,920	35,915,963	215	22,892	6,189,572	270	14,295	3,698,793	259
29 か じ か	531	18,268	34	646	18,459	29	516	12,357	24	763	19,309	25	811	24,378	30
30 こ ま い	1,972,994	74,043,186	38	917,882	52,603,918	57	447,555	30,277,661	68	955,843	59,329,249	62	3,999,563	129,503,735	32
31 は た は た	34,919	12,543,299	359	4,354	3,481,065	800	3,644	2,927,188	803	37,729	27,707,271	734	17,507	17,856,196	1,020
32 い わ し	129,235,133	3,852,515,318	30	141,982,665	4,167,897,322	29	151,098,738	4,881,821,223	32	134,862,686	6,062,403,696	45	160,479,055	10,105,042,031	63
33 あ ぶ ら こ	532	41,496	78	792	38,890	49	453	26,903	59	77	7,687	100	204	11,358	56
34 た こ	200,867	115,947,404	577	159,349	62,333,700	391	105,468	80,442,756	763	67,657	61,759,931	913	36,988	29,150,996	788
35 か に	34,163	186,750,306	5,466	28,817	155,471,078	5,395	18,237	125,881,131	6,903	13,830	94,599,879	6,840	13,384	111,761,861	8,350
36 つ ぶ	263,447	57,281,520	217	292,620	59,787,853	204	307,688	56,203,649	183	224,474	74,024,389	330	339,276	72,183,164	213
37 し し ゃ も	62,743	92,085,710	1,468	26,421	76,352,069	2,890	35,509	160,333,436	4,515	46,639	178,533,385	3,828	29,297	78,155,950	2,668
38 き ゅ う り	6,737	362,824	54	13,034	672,855	52	4,599	362,648	79	7,253	558,115	77	1,452	159,252	110
39 そ の 他	858,247	186,333,255	217	559,526	108,390,897	194	909,696	85,915,571	94	710,657	140,116,460	197	992,864	222,500,512	224
合 計	172,267,965	8,330,487,406	48	191,635,495	8,227,252,527	43	204,499,017	8,860,949,316	43	172,554,010	10,537,107,075	61	189,416,393	14,323,147,885	76

Ⅲ. 釧路水産業の沿革

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
明治 2 年	●「蝦夷地」を「北海道」、「久寿里」を「釧路」と改める。北海道漁場請負制度が廃止され、漁場持と改められる。 ●佐野孫右衛門が、釧路の漁場持を認められ、生活物資の仕込を行う。
3 年	●佐野孫右衛門により函館近郊、青森、秋田、新潟などの移住漁民が、釧路村より仙鳳趾村の間に定住する。釧路の開基とされる。春はニシン、夏に昆布、秋のサケ漁で三業時代という。 ●この年、漁業生産が振るわず、佐野の移民事業が困難を極める。
4 年	●佐野の漁場経営不振などのため、経済的破綻をきたし、漁場持を辞退し、函館へ退去する。この後、佐賀藩が直捌きを行う。
5 年	●廃藩置県で佐賀藩直捌きは止み、佐野再び漁場持となる。
6 年	●釧路、厚岸港に海関所を設置する。
7 年	●昆布価格の下落著しく、根室支庁備金の中から釧路、根室漁業者に漁業資金を貸与される。（3ヶ年年賦）
9 年	●漁場持制度が廃止される。（漁場、昆布干場はひとまず上地され、新たに営業を出願する者に対して実施調査の上、割渡しすることになる。）
10 年	●海産干場の私有が認められ、漁業者の独立自営の法的自営基礎が確立する。 ●広業商会が漁民に資金を貸与し、そのため昆布場などが増加する。（釧路の昆布場：明治10年96ヶ所、翌11年175ヶ所）
11 年	●北海道漁業資金貸与規制が制定される。これを機に函館の海産物仲買商の進出がみられ、仕込商法が行われる。
13 年	●開拓使が地方土産物の自由売買を認める。これを機に函館の海産物仲買商の進出がみられ、仕込商法が行われる。 ●広業商会支配人 武富 善吉、佐野孫右衛門の漁場一切を買収し、武富 安太郎を代理人、福島 甚吉を使用人として、事業を大いに拡大する。 ●昆布場243ヶ所、鮭場29ヶ所統、昆布2万8千余石（約4,200トン）、鮭4千石（約600トン）、鰯2千3百石（約345トン）と生産高が飛躍する。 ●釧路在住の一漁民により、初めて鱈延縄漁業が行われたという。
15 年	●昆布採取資本金10万円中7万円、漁業資本金50万円中7万円が根室県に貸与される。
17 年 ～ 18 年	●このころ手繰漁業が開始される。〔手林 長蔵が鱈の餌を獲るため小魚手繰りを始めたといわれる。（三枚はぎ漁船を使用）〕
19 年	●浜頭 久太郎、トンケシで造船所を始める。 ●越後から来た本間 連治、与平の兄弟が、川崎船による岡手繰をもって鱈漁を行ったといわれる。
20 年	●釧路漁業組合設立される。釧路村他5ヶ村222名。

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
明治20年	●手繰網漁業に三枚はぎ和船による帆打瀬が出現する。 ●7月、英国人港湾技師C. S. メークが釧路築港の設計をする。
23年	●釧路港が特別輸出港に指定される。
25年	●竹中商店、初めてカマボコ製造を行う。 ●土屋 金次郎がソボロ製造を創始する。
30年	●明治20年代より始まった越後漁民（北蒲原郡次第浜、藤塚浜など）の入漁入稼がこの頃になり盛んに行われ定住する者もあり、和船手繰網漁業の漁場として次第に開発される。
31年	●道庁（広井技師）が釧路港の精密調査を実施する。
32年	●釧路港が普通貿易港に指定され、8月に開港する。 ●越後漁民が、母漁村の川崎船を直接釧路へ導入し、手繰を行う。これにより漁場が拡大され、漁獲量が増大する。
33年	●釧路に町制が施行される。
36年	●釧路川左岸埋立工事が完成し、入舟町が新設される。
38年	●西村周右衛門「かとう鮫釣」を試み、鮫70本、鮪1本を漁獲して、鮪漁の有望性を発表する。 ●知人、前田漁場（建網）に鮪の来遊がみられる。
39年	●鯨旋網漁業の萌芽がみられる。 ●池田 栄太郎が鮪流網漁業を試み、好成績を上げ、斯業の先端を開く。
40年	●道庁の関谷技師によって、釧路港修築の再調査が行われる。 ●三輪水産会社が缶詰製造を始める。 ●株式会社水印釧路魚菜市場（西幣舞）を飯塚 城之助らが始める。 ●鯨旋網漁業の開始は、建曳網漁業者との利害としてあらわれ、権利をめぐる釧路漁業界に騒擾がみられる。 ●鮪流網38隻着漁、新漁場として内外の注目を集める。 ●鯨旋網漁業が本格化して、南部八戸地方漁業者の出漁が行われる。 ●鯨漁業開始以来、最高の水揚げ（5万石、約7千5百トン）を記録する。
41年	●道庁港湾修築計画案（いわゆる関谷計画）ができる。 ●鯨旋網漁業許可をめくり、漁業界が開放派と非開放派の2派に別れて紛糾する。 ●釧路郡漁業組合設立される。
42年	●釧路港修築議案が帝国議会を通過する。 ●釧路魚商組合設立される。
43年	●釧路港修築工事に着手する。 ●株式会社共立魚菜市場を土屋 金次郎らが入舟町に開設する。 ●北海道水産試験場員釧路駐在所が設置される。（10/30） ●鯨旋網桙船曳航のため蒸気船を使用する。

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
明治 4 4 年	● 鈴木水産工場（北海道水産株式会社の前進）が入舟町に設立される。 ● 鮭漁業、一進一退の成績を示す。
大正 2 年	● 鮭漁船が遭難する。（人員63名、漁船18隻にのぼり、鮭漁業再起不能と憂慮される。紫雲台に「釧路遭難漁者之碑」あり。） ● 本州の発動機付鮭漁船が来航して、釧路漁場で活躍する。 ● 釧路郡漁業組合が、発動機船建造奨励のために資金貸与法を定める。
3 年	● 飯塚 城之助、嵯峨 久らが漁業組合の貸付資金などにより、率先して発動機船を鮭流網漁業に使用して好成績をあげる。（新造船の試運転は7月13日に行われた飯塚のときわ丸が初めて）
4 年	● 仲買人組合の菅野沢蔵らが共立魚菜市場を譲り受け、釧路三鱗株式会社魚菜市場として発足する。 ● 釧路鮭漁船組合が設立される。 ● 北海道水産試験場員釧路駐在所に所属する試験船（6トン 石油発動機）が建造される。 ● この頃、萩原造船（入舟町）、浜頭造船所（大正2年）など造船所の新設が目立つ。
5 年	● 釧路港修築計画が拡張され、北防波堤の築造が追加される。 ● 北海道水産試験場員釧路駐在所が釧路支場となる。
6 年	● 北海道水産株式会社設立。発動機船2隻（いずれも12.3トン 16馬力）を建造して、従来の製造事業の他、沖合漁業に進出する。この頃より越中漁民の鮭流網による来住が多くなる。
7 年	● 北海道水産株式会社が前年に引き続き、底曳船（12.3トン 16馬力）を6隻建造し（このうち4隻は機船）、底曳漁業を本格的に行う。このため、和船手繰網漁業者の動力化の機運が高まる。
8 年	● 渡辺 啓作が、従来の川崎船が行っていた「駆け廻し漁法」を機船底曳に改良して応用、大きな成果をあげる。 ● 他地区からこの底曳入会船があらわれる。北海水産の北海丸他3隻が冬期間室蘭根拠で入会する。この後、釧路底曳15隻毎年入会する。 ● 小樽から初めてドラム（ネジリバナのような形をしていたので「チャブシ」とよばれた。）を導入する。 ● 第1次世界大戦後の不況始まる。魚粕が暴落する。（百石＝15トンで4,000円が10分の1ぐらいになる。） ● 北海水産が倒産する。同社の底曳船を北蒲原郡出身の船頭（平野 作造、猿子伊三郎、渡辺 啓作、田村 友太郎ら）が買収して機船底曳漁業を行う。
9 年	● 釧路発動機漁船組合（機船組合の前身）が設立される。 ● 8月8日釧路、十勝地方の豪雨で釧路川、阿寒川が氾濫し、未曾有の洪水となる。（このとき阿寒川が現在のように変わる。） ● 釧路町が釧路区となる。 ● 釧路港修築計画変更。（港域が拡大される。） ● 機船底曳船50余隻に達し、川崎船手繰が影をひそめる。 ● 新潟県西蒲原郡間瀬地区出身者の底曳船漁夫としての入会が盛んとなる。
1 0 年	● 釧路川治水工事が着工される。（新釧路川の開削）

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
大正 10 年	●釧路郡漁業組合が三つに分割される。（釧路町が区になったため。） ●釧路東部・釧路西部漁業組合が発足。（釧路郡漁業組合はのちに昆布森漁業組合となる。） ●日高地方で行われていたタコ空釣漁業が桂恋地区に導入され、次いで釧路沿岸一帯に普及しはじめる。
11 年	●釧路区から釧路市となる（8／1）。 ●釧路港南防波堤が竣工する。 ●厚岸大黒島の底曳漁場が開発される。 ●底曳船の装備、漁具ともに漸次改良され、遠隔地への出漁が容易となる。
12 年	●タコ買取運搬船が釧路へ回航しはじめる。（カサ 近藤 佐平が嚆矢である。） ●このころ、釧路底曳（15隻）が新潟港を根拠とし、操業を行う。（2～3年つづく。）
13 年	●発動機漁船組合の嵯峨 久らが共立魚菜市場を買収し、三ツ鱗共同魚菜市場とする。（現釧路魚市場の前身） ●本間 源蔵、底曳網に「カブセ」を導入し、漁獲効率を上げる。 ●底網によりスケトウダラが初めて漁獲される。 ●底曳漁船が無注水式発動機の使用を始める。
14 年	●北海道水産試験場釧路支場廃止される。 ●この頃よりスケトウダラすり身製造が盛んとなる。
15 年	●釧路港第一期修築工事が終わる。
昭和 元年	●底曳船ドラムにつけるツナハジキが取り入れられる。 ●イワシ旋網漁業が始まる。（千葉からの出稼ぎ）。
昭和 2 年	●釧路港第二期修築工事に着手。漁港8万坪を加える。（昭和16年に完工を予定するが、戦争等により着手されず。） ●鮪流網漁業がいよいよ盛んとなる。 ●漁船動力化の進展により、内燃機関製作所ができる。
3 年	●釧路水産会が設立される。
4 年	●釧路漁港株式会社（嵯峨漁港）の埋立が許可される。 ●底曳船に鋼船が登場する。（東海丸、妙見丸、住吉丸の3隻でいずれも45.29トンで室蘭で建造。） ●底曳、霧達布中の場の漁場を開拓する。 ●鮪流網が最盛、300万貫（11,250トン）以上の大漁となり魚粕にされるものもあった。 ●鮪積取運搬船盛んに入港する。魚問屋簇生する。 ●鮪の盛漁に伴い、釧路川の「氷切り」が盛んになる。 ●市営給水岸壁が竣工。（現南埠頭）
5 年	●嵯峨 久 銅像が建立される。 ●南千島での底曳始まる。 ●このころから底曳漁業労賃歩方制が始まる。

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
昭和 6 年	●釧路川治水（主体工事）が竣工する。新釧路川に通水する。 ●この頃より昆布漁村一帯、昆布の中国輸出遮断状態で疲弊する。 ●根室を根拠とする底曳が行われ、色丹東側タラ漁場、南千島一帯のタラ、マガレイ漁場が開拓される。花咲沖漁場も開拓される。
7 年	●北海道漁業缶詰株式会社カニ試験工場が設置される。 ●水難救難士ら、とり丸を建造する。 ●釧路根拠底曳船の禁止期間が6・7月の2ヶ月に決まる。この期間、一部根室へ入会操業する。また、夏季は網走、室蘭船の入会が現れる。 ●この頃に建てられた造船所は動力漁船の修理を本格的に行うようになる。
8 年	●北海道機船底曳網漁業水産組合が設立され、釧路支部が置かれる。 ●小城（金城丸）栗山らが北千島サケ・マス流網漁業に出漁する。昭和19年まで続く。 ●イワシ漁業が次第に盛んになる。
9 年	●中村水産がフィッシュミール工場を新設する。 ●三ツ鱗共同魚菜市場が水印釧路魚菜市場を買収し、三ツ鱗釧路魚菜市場として発足、一市場制となる。 ●イワシ漁業が550万貫（19,625トン）と最高の水揚げを示す。 ●鮪流網の水揚げが次第に減少の傾向を示す。
10 年	●市場運営は魚類と青果を分け、株式会社釧路魚卸売市場が生まれる。 ●上場所をめぐり、カニ刺網、スケトウダラ延縄漁業など沿岸漁業と底曳漁業の紛争起こる。 ●底曳でエビを獲るようになる。 ●上場所の資源減少が目立つ。
11 年	●株式会社釧路魚卸売市場の錦町分場が建設される。 ●釧路市東部漁業協同組合が発足する。
12 年	●嵯峨漁港埋立工事竣工する。 ●嵯峨漁港に魚市場が建設され、株式会社釧路魚卸市場の本場となる、入舟町魚揚場は廃止される。 ●北海道底曳漁業整理水産組合が設立される。（翌13年に釧路支部設置される。）
13 年	●嵯峨漁港に日本水産製氷冷蔵工場できる。 ●鮪流網船が徴用され、上海へ向かう。 ●釧路市西部漁業協同組合が発足する。 ●無線電信機が導入される。 ●国の底曳整理方針が決められる。 ●底曳漁業に挟みドラムが普及する。 ●マダラが大量に獲れ、ソボロ製造が盛んとなる。
14 年	●タラ、スケトウダラの水揚げが過去最高を記録する。（1,200万貫、45,000トン）
15 年	●釧路海区底曳船が室蘭海域への入会を停止される。 ●明星、金富、東海丸がホロムシリ島を基地に、西カムチャッカからシュムシュ島にかけて底曳試験操業でタラ、カレイを漁獲する。

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
昭和 1 5 年	●釧路漁業用海岸無線局が設置される。
1 6 年	●鮮魚統制令により、市場業務が鮮魚配給統制会社に移行される。
1 8 年	●釧路底曳船18年～20年にかけて半数が徴用される。 ●釧路市西部漁業協同組合、釧路市東部漁業協同組合が合併し、釧路市漁業協同組合となり、19年に釧路漁業会となる。
1 9 年	●市場業務が漁業会に移行する。 ●統制組合の設立が盛んに行われる。 ●造船所は釧路造船所（知人町）に統合することとなり、浜町の東日本造船所（栗林、函館ドック、王子製紙の三社が出資）と天寧の三ツ輪造船所の3ヶ所となる。 ●近海に潜水艦が出没し、釧路港は閑散となる。
2 0 年	●釧路空襲により、嵯峨漁港の市場、帝水工場（前日水）焼失、無線局損傷する。 ●終戦 ●底曳整理方針をやめ、小型底曳船が許可される。 ●東北底曳漁船の入会並びに無許可船の操業が増え、釧路底曳漁場大混乱する。
2 1 年	●中村水産製氷冷凍工場ができる。
2 4 年	●市設第1魚揚場（A棟）建設される。（錦町） ●東北底曳船入会問題一応の解決をみる。 ●北海道水産試験場釧路支場が開庁する。（大川町） ●サバ旋網未曾有の好漁（1,000万貫、37,500トン）で釧路水産界が活況をみせる。 ●23東海丸に魚群探知機が導入される。 ●釧路市東部、続いて釧路市漁業協同組合が設立される。 ●極洋捕鯨が沿岸捕鯨釧路事業所を浜町に移転。釧路冷凍工場竣工。
2 5 年	●この頃、5大水産（大洋、日水、日魯、極洋、日冷）が釧路進出を終える。 ●市設第2魚揚場（B棟）が建設される。（錦町） ●サバが引続き好漁となる。 ●釧路機船底曳漁業協同組合が設立される。 ●漁業基地として外来船が全国より来て操業する。（サンマ・サバ） ●漁業統制解除に続き、釧路三市場開設される。 ●水産加工業がサバ、サンマ魚粕魚油生産のために、好景気を示す。
2 6 年	●副港建設に着手する。 ●釧路港が重要港湾に指定される。 ●釧路市営製氷工場が建設される。 ●サケ・マス流網漁業が盛況をみせる。 ●日本水産が知人に釧路捕鯨事業所を開設する。
2 7 年	●3月4日十勝沖地震が発生、海底地形変化で底魚分布が一変したといわれる。釧路港港湾施設、魚揚場など被害甚大。 ●北洋母船式サケ・マス漁業再開に際し、千代喜丸、金勢丸の2隻が独航船として参加する。 ●釧路市漁業協同組合の建物が市に移管され、第3揚場（C棟）となる。（錦町）

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
昭和 2 7 年	● 小手繰密漁問題が次第に表面化し、社会問題化する。 ● サバ漁終焉。（戦後第 1 期サバ漁という。） ● ツツ市場、株式会社釧路魚卸売市場と改称する。 ● 小手繰密漁問題解決のため、エビ桁曳網漁業試験操業が行われる。 ● 北水試光洋丸を指揮船として、巡視船てんりゅうも参加し、底曳船第 1 3 八幡丸、妙見丸、第 1 大勢丸、第 1 6 幸漁丸、幸丸、第 2 明星丸等が中部千島沖漁業試験を行う。 ● 底曳漁業の禁止期間、区域の一部が改正される。 ● 釧路市が港湾管理者となる。
2 9 年	● 釧路港が北洋サケ・マス漁漁業道東地区独航船の発進基地となる。 ● 東北 4 県底曳船が中南部千島漁場開発に入会操業する。 ● 5月10日暴風により史上最大の海難が発生する。（漁船遭難、全道で506隻、死者333名）
3 0 年	● 釧路港が北洋サケ・マス船団（極洋捕鯨）の基地となる。 ● 中南部千島沖で本格的底曳網操業が始まる。（特にスケトウダラが大漁、エトロフブームと騒がれる。）
3 1 年	● ブルガーニン・ラインが設定される。 ● 日本化学餌料釧路工場が従来放棄していた水産加工の排汁を高度利用する目的で進出してくる。 ● 釧路機船底曳網漁業協同組合が釧路機船漁業協同組合と名称を変更する。 ● サンマ豊漁。（1,500万貫、56,250トン）
3 2 年	● 第 1 回日ソ漁業交渉が行われる。 ● 小手繰密漁問題が解決する。 ● 「えび桁網漁業」 3 0 隻の操業を北海道立水産試験場の委託試験として実施する。 ● 沿岸漁業者が小手繰漁業から他の漁業種目に転換する。 ● ババガレイ刺網漁業盛んとなる。 ● 中南部千島沖の赤物が激減。
3 3 年	● 中央埠頭の建設工事が始まり、道東の拠点都市としての地位を固める。 ● 副港の魚揚場建設が決定される。 ● 知人にあった各造船所が浜町地先に集団移転する。
3 5 年	● 副港魚揚場が完成する。（管理棟、左翼棟） ● 北海製缶釧路工場の建設が決定される。
3 6 年	● フィッシュミール工場が建ち始め、生産が急増する。
3 7 年	● 北転船漁業が始まる。 ● サバ旋網漁業が再開される。
3 8 年	● 釧路港の副港岸壁、物揚場付属泊地が完成する。
3 9 年	● 釧路市漁業協同組合事務所が副港に新築移転する。 ● 株式会社丸釧卸売市場が、市場開設県を道漁連に譲り、卸売り業務を廃止する。 ● 北海道立水産試験場釧路支場は機構改革により北海道立釧路水産試験場と改称、12月に大川町より浜町 1 6 番地に新築移転する。

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
昭和40年	●極山丸船団が釧路基地を廃止する。 ●北転船漁業が本格化した。 ●サンマ棒受網漁業が減少しはじめる。 ●この頃より魚粕生産がホール・ミール形式に移行しはじめる。 ●極洋捕鯨が沿岸捕鯨釧路営業所を廃止する。
41年	●株式会社釧路魚卸売市場本社が副港に移る。 ●錦町魚揚場A、C棟が解体され、水産ビルの建設が決まる。（1階が消費地向け卸売市場、2階が貸事務所、3階が宿泊部門）釧路機船漁業協同組合の入居が決まる。 ●錦町岸壁がマイナス6mに改修される。 ●釧路市東部漁業協同組合事務所が釧路川左岸岸壁沿いに建設される。（大川町）
42年	●副港が北転船受け入れのため、マイナス6m岸壁に改修される。 ●水産ビル竣工する。（錦町） ●副港波除堤が陸揚げ岸壁に改修される。
43年	●中央埠頭が完成。 ●この頃から底曳船が96トン型から125トン型へ移行しはじめる。
44年	●錦町魚揚場が開場される。（8月） ●釧路市と釧路市漁業協同組合、釧路市東部漁業協同組合との間で西港漁業協定が調印される。（12月） ●水揚量で全国1位となる。（52年まで9年連続する。）
45年	●第3魚揚場が建設される。（副港） ●流氷により底曳船のエトロフ島ヒトカップ海難が発生する。（死者30名、同島に上陸し、救助された者84名、沈没2隻、船体放棄6隻） ●ベーリング海域アラスカ沖からの船凍魚水揚げが始まる。
46年	●水産加工業に対する公害規制が強まる。 ●第5魚揚場が建設される。（副港） ●サケ・マス延縄漁業が禁止され、流網漁業一本となる。小型サケ・マス船は一割の減船。 ●ドルショック起こる。 ●サンマ棒受網漁業回復の兆し現れる。 ●日ソ漁業交渉において、オホーツク産卵ニシンが全面禁漁となる。
47年	●釧路－東京間にカーフェリー「まりも」が就航する。（4月） ●沖底船のオッタートロール化が進む。 ●新卸売市場法施行に伴い、市場開設者及び卸売人が株式会社釧路魚卸売市場と釧路市漁業協同組合の2者となる。
48年	●道東沿岸に流氷接岸、コンブ礁被害受け、減産。 ●サンマ全国的に大豊漁となる。（39万トン） ●カーフェリー「ましゅう」（2隻目）就航。 ●国鉄ストの頻発などにより、水産物のトラック輸送のウェイトが益々高まる。 ●船凍品誘致対策として、奨励金の交付が行われる。（揚場使用料の2分の1相当額） ●中東石油産出国の石油戦略により、空前のオイルパニックとなり、水産業者燃油確保に苦慮する。（第1次オイルショック）

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
昭和49年	●第3次国連海洋法会議第2会期がベネズエラの首都カラカスで開催され、排他的経済水域200海里が世界の大勢となる。(6月) ●第2水産加工団地(釧白団地)の汚水処理施設7,000トン完成するも、不況及び海洋法の先行き不安から企業の進出ペース大幅にダウン。 ●釧路港へのサバ水揚げ期限、業界調整により10月20日まで延長される。 ●日ソ漁業交渉の結果、西カムチャッカの母船式カニ漁禁止され、基地独行方式となる。 ●西港に石油タンカー第1船入港。(12月) ●燃油、漁業資材の高騰と魚価低迷から全般的に漁業経営が悪化し、国の緊急融資対策などがとられる ●漁船係留岸壁として大町岸壁延長240m、マイナス6mに改修される。 ●道東のスルメイカは依然として凶漁、ムラサキイカ(アカイカ)が漁獲対象として注目され始める。
50年	●水産庁北海道区水産研究所着工。52年9月開庁。 ●第3次国連海洋法会議第3会期がジュネーブにおいて開催される。 ●中型サケ・マス流網船(岩手県船籍18隻)が西港より出漁。 ●幣舞橋47年間の任務を終える。(51年11月5代目となる。) ●中央港湾審議会で副港区域の拡張計画が承認される。 ●一時性多獲魚の利用対策としてサバの燻製「くしろの味」試作流通試験実施。 ●第1、第2水産団地加工排水接続管(延長390m)完成。 ●サバ旋網、イワシを漁獲する。
51年	●第3次国連海洋法会議第4会期がニューヨークにおいて開催される。(3月) ●米国で漁業保存管理法成立。(4月) ●釧路水産試験場が新漁場開拓のため、中部太平洋天皇海山海域で試験操業を実施。(7月) ●新漁港埠頭工事着工。(8月) ●ソ連200海里宣言。(12月)
52年	●米国、ソ連200海里を実施。(3月) ●ソ連の200海里実施で沖底船等一斉休漁し、供給減予想があらゆる水産物高騰の引金となった。(4月) ●韓国船操業に対し、デモを行う。 ●200海里時代に対応して、釧路市の水産加工業界5企業体15業者が「釧路船凍荷受加工業協同組合」を設立。 ●福田総理来釧、釧路市水産業対策協議会陳情を行う。(6月) ●日本、領海12海里、漁業専管水域200海里実施。(7月)
53年	●釧路市200海里総合対策を発表。(5月) ●釧路橋南水産加工協同組合は船凍スケトウダラ珍味加工品を試作し、好評を博す。(6月) ●小型サケ・マス船水増しトン数問題に関する緊急指導会議が開催される。(8月) ●小型サケ・マス船問題調査のため、道議会水産常任委員一行来釧。(9月) ●第1管区海上保安本部釧路航空基地が開設される。(10月) ●副港新漁港埠頭の整備利用計画についての新漁港埠頭整備利用計画推進委員会が発足する。 ●流網漁法によるイカ漁が盛んになり、同時にイカ釣り漁業関係から資源、漁法等について問題提起され禁止となる。 ●ヘリ搭載大型巡視船「そうや」(3,800トン)が釧路港に配属される。(11月)

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
昭和53年	●釧路市が特定不況地域中小企業対策臨時措置法等の特定不況地域として指定される。 ●水揚げ日本一ならず。
54年	●日ソサケ・マス漁業交渉妥結、漁獲量42,500トン、漁業協力費32億5千万円。（4月） ●釧路市漁業後継者連絡協議会、設立される。 ●ソ連産冷凍スケトウダラ470トン、市内20業者に初入荷、小型多し。 ●第2次オイルショックが水産業界にも波及、燃油不足から操業不安高まる。（7月） ●農林水産大臣が水産事情視察のため来釧。 ●米国大型沿岸警備艦「モーゲントオ号」(3,050ト)入港、日米漁業友好親善を深める。（8月） ●海上保安庁長官、管内保安体制視察。 ●台風20号により、釧路知人礁、西港前浜で韓国3隻、下関1隻の乗組員96名避難、生存者30名、死者行方不明者66名を数える。（10月） ●道漁連東京営業本部の「カラ取引」欠損金問題表面化。（12月） ●水揚量で再び全国一となる。（平成3年まで13年連続）
55年	●漁業用A重油が1L当たり70円（前年同期30円）となる。（2月） ●巡視船「だいせつ」が「えりも」の代船として釧路海上保安部へ新配置、就役する。 ●新漁港埠頭埋立工事完了。 ●道漁連は総会で新会長選出、次年度以降の必要償還額は365億円となる。（5月） ●水産物流通加工拠点総合整備事業の広域拠点整備調査事業の指定を受ける。（7月） ●道東スルメイカ漁は10年ぶりの豊漁となる。（次年より薄漁となる。） ●釧路市は産地中小企業振興対策臨時措置法に基づく地域指定を農林水産省より受ける。 ●沖合底曳網漁船による中層曳漁法試験（3年目）が開始される。（9月） ●4年間にわたった日韓漁業相互規制協定が11月1日発効となる。 ●釧路市水産水処理協同組合が発足する。 ●米国下院本会議で米国漁業促進法案（ブロー法案）が可決される。 ●新漁港埠頭完成。
56年	●釧路地区漁業協同組合連合会（ちくれん）解散。 ●水産物流通加工拠点整備事業着工。 ●秋鮭定置ノルマ制導入。 ●日ソコンブ漁民間協定調印、5年ぶりに貝殻島コンブ漁再開。
58年	●釧路港の水揚量100万トンを突破。
59年	●北転船43隻（うち釧路船籍は6隻）の自主減船。 ●日米水産物買付合弁事業（ジョイント・ベンチャー）開始。
60年	●日ソ漁業交渉危機突破大会開催。 ●北洋サケ・マス漁業危機突破大会開催。 ●錦町市場閉鎖、新富士市場開場。
61年	●北転船、公海での本格操業開始。 ●対ソ漁業交渉危機突破緊急大会開催。 ●日ソ交渉、日本15万トンの割り当てで妥結。 ●水産物流通加工拠点整備事業竣工。 ●「海の頭彰碑」除幕。 ●サケ・マス小型以東船123隻（うち釧路管内40隻）の自主減船。

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
昭和 6 1 年	●イワシの魚価、8円/kgに暴落。 ●沖底船自主減船決定（うち釧路管内40隻）。 ●北海道立釧路水産試験場分庁舎完成（道水試の加工部門を集約）。
6 2 年	●米国200海里内漁獲割当量、24,700トン（前年比6分の1）と通告される。（1月） ●北洋漁業規制で底曳船等85隻減船、魚礁として沈められる。 ●東太平洋赤道付近で、エルニーニョ現象発生する。 ●日ソサケ・マス交渉妥結、漁獲量24,500トンと据え置き、協力金37億円。（2月） ●釧路沿岸に流水接岸、2年続きのコンブ被害。 ●釧路マリノベーション構想まとまる。（3月） ●北洋サケ・マス船出漁、以西200隻、中型、以東231隻。（5月） ●米国200カイリ内、オットセイ混獲問題で母船式サケ・マス操業差し止められる。（6月） ●イワシ魚油、A重油代替利用実験実施。 ●ソ連、漁業分野の対日合併事業早期実現を迫る。 ●6月、道東沖イワシ漁試験操業初めて行われる。 ●道東沖イワシ漁本格操業開始。（7月） ●釧路湿原、国立公園に指定される。（9月） ●釧路港5年連続水揚量100万トン突破。（10月） ●道東沖イワシ漁約119万トンと過去最高で終漁する。（11月） ●米国RC自国200海里内で外国漁船完全締め出しを決議する。（12月） ●日ソ漁業交渉、無償21万トン、有償10万トン、入漁料17億1千万円で妥結する。 ●釧路フィッシャーメンズワーフ本格着工決まる。 ●釧路港水揚量史上最高の133万トン、9年連続日本一を達成する。
6 3 年	●対米200海里割り当てゼロ抗議集会副港で開かれる。（1月） ●ソ連産スケトウダラ洋上買付による水揚げ始まる。（2月） ●ソ連、サケ・マス沖取り、1992年までに全面禁止提案。（3月） ●釧路マリノベーション構想、事業化へ本格始動する。（4月） ●米国調査捕鯨制裁のため、対日漁獲割り当て全面禁止する。 ●釧路青年会議所、国際漁業博開催を提唱。 ●日ソサケ・マス交渉2万826トン、協力費37億円で妥結する。 ●サケ・マス小型船・中型船出漁。（5月） ●道東沖イワシ漁試験操業開始。（6月） ●道東沖イワシ漁本格操業開始。（7月） ●観光漁港化へ向け、錦町水産ビルの取り壊し始まる。 ●まき網船団、魚価安に抗議の一斉帰港する。 ●サンマ棒受網漁、豊漁で魚価低迷する。（8月） ●釧路港水揚量、6年連続100万トンを突破する。（10月） ●日ソ合併事業投資会社、釧路国際漁業設立される。 ●道東沖イワシ漁6年連続100万トン突破で終漁する。（11月） ●道東沖サンマ漁、魚価安で漁期1ヶ月残し終漁する。 ●日ソ漁業交渉、無償21万トン、有償10万トン、入漁料19億8千万円で妥結する。（12月） ●釧路港水揚量、10年連続日本一の126万7千トンを記録する。
平成 元 年	●釧路川ししゃもふ化場完成（釧路市、釧路市東部、白糠、昆布森の4漁協共同）、自然産卵方式を採用する。（1月） ●スケトウダラ洋上買付、今年は中止とソ連から通告を受ける。（2月） ●日ソサケ・マス交渉始まる。（3月）

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
平成元年	●日ソサケ・マス交渉、1万5千トン、協力費33億5千万円で決着する。（4月） ●ニュージーランド、流し網禁止を発表、本道漁業に影響。（5月） ●釧路海谷で全国初の海の大掃除を実施する。（6月） ●サケ・マス中型船続々水揚げ、輸入物に押されて価格は低迷する。 ●道東沖イワシ漁、試験操業好調な滑り出し。 ●母船式独航船10隻、釧路港へ初水揚げ。 ●イワシ、魚価低迷10円/kg台。（7月） ●釧路市設魚揚場開設40周年記念式典を開催する。（8月） ●イワシ不漁、1・2年魚の激減響く。 ●豊漁続くサンマ、漁期1ヶ月残し終漁。（11月） ●道東海域イワシ漁、100万トンならず。（92万トン） ●釧路港水揚量、11年連続日本一。しかし、100万トンならず（96万2千トン）。（12月）
2年	●ソ連産スケトウダラ洋上買付、2年ぶりに水揚げされる。（2月） ●日ソ漁業交渉の決裂（着底トロール等）により、北転船の有償操業は見送り。（3月） ●水産庁が、92年からの北洋サケ・マス沖取り全面禁止を前提にした減船補償概要をまとめる。（4月） ●日ソサケ・マス交渉1万1千トン、協力費31億5千万円で妥結する。 ●サケ・マス小型・中型船出漁。（5月） ●道東沖イワシ漁試験操業開始。（6月） ●基地式サケ・マス独航船、32隻水揚げする。（7月） ●イワシ漁好調、価格も前年より高く20円/kg前後で推移。（8月） ●釧路近海マイカ漁大豊漁。（9月） ●道東イワシ漁、本年も100万トンならず（97万トン）。（11月） ●サンマ漁豊漁で終漁。 ●ソ連カムチャッカ州との合併企業「カムカイドウ」設立について合意し、調印する。（12月） ●日ソ漁業交渉、無償18万2千トン、有償3万5千トン、入漁料11億2千万円で妥結。 ●釧路港水揚量、12年連続日本一。
3年	●ソ連産スケトウダラ洋上買付始まる。（2月） ●日ソサケ・マス交渉9,000トン、協力費28億3,500万円で妥結する。（3月） ●スケトウダラの原魚不足で価格高騰続く。 ●サケ・マス小型船、中型船出漁。（5月） ●イワシ試験操業開始。（6月） ●北洋サケ・マス公海沖取り禁止を受け入れる。 ●旧母船式独航船のサケ・マス、昨年の半値以下。（7月） ●水産庁、日ソ水産合併企業「カムカイドウ」設立を承認。 ●マイカ漁好調な水揚げ続く。（8月） ●日ソ水産合併企業「カムカイドウ」毛ガニ初水揚げ。（10月） ●道東イワシ不漁で終わる（68万トン）。（11月） ●公海流し網、平成4年末で禁止となる。（12月） ●水産庁、ベーリング公海でのスケトウダラ漁獲を12万トンに規制。 ●北方底曳網漁船、大幅減船。（北転船22隻、北方・転換トロール船3隻減船） ●日ソ漁業交渉、無償18万2千トン、有償3万トンで妥結する。 ●釧路港水揚量、13年連続日本一（昭和54年～平成3年）。
4年	●スケトウダラ洋上買付始まる。（1月）

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
平成 4 年	●ロシア200海里内北転船有償操業（抱卵スケトウダラ）始まる。（2月） ●北太平洋サケ・マス保存条約（公海沖取り禁止）調印。 ●日ロサケ・マス交渉、2,819トン、協力費4億4,400万円で妥結。（3月） ●小型サケ・マス（20トン未満）日本200海里内操業開始。（5月） ●中型サケ・マス船、ロシア200海里内有償操業及び合弁枠操業開始。 ●イワシ試験操業開始。（6月） ●日ロ共同資源調査船出港（モガニ2トンを超水揚げ）。（7月） ●ベーリング公海のスケトウダラ漁、93年から2年間操業停止を決定。（8月） ●19トン小型サケ・マス船、日本200カイリ内から全面撤退を決定。（12月） ●日ロ漁業交渉、無償17万1千トン、有償1万8千トンで妥結。 ●イワシ漁不振に伴い、釧路港水揚げ日本一の座を明け渡す。
5 年	●1月15日釧路沖地震発生（マグニチュード7.8）。釧路港港湾施設、魚揚場など被害甚大。 ●ロシア200海里内北転船有償操業（抱卵スケトウダラ）始まる。（2月） ●日ロサケ・マス漁業交渉、漁獲量4,819トン、協力費7億5,900万円で妥結。（3月） ●スケトウダラ洋上買付始まる。 ●中型サケ・マス船出漁。（5月） ●マイカ漁不漁で終わる（漁期1ヶ月）。（8月） ●道東イワシ漁不漁で終わる（5千トン）。（10月） ●サンマ漁豊漁で終漁。（11月） ●日ロ漁業交渉、無償10万トン、有償1万8千トンで妥結。（12月） ●イワシ不漁に伴い、釧路港水揚量全国第4位となる。
6 年	●ロシア200海里内北転船有償操業（抱卵スケトウダラ）始まる。（2月） ●日ロサケ・マス漁業交渉、漁獲量4,819トン、協力費7億5,900万円で妥結。（3月） ●中型サケ・マス船出漁（花咲港）。（5月） ●マイカ漁好調な水揚げ続く（10月まで）。（8月） ●10月4日北海道東方沖地震発生（マグニチュード8.1）。 釧路港港湾施設、魚揚場など被害甚大。 ●日ロ漁業交渉無償10万トン、有償1万8千トンで妥結。（12月） ●釧路港、水揚量全国第3位となる。
7 年	●ロシア200海里内北転船試験操業（抱卵スケトウダラ）始まる。（2月） ●北海道資源管理協定が農林水産大臣の認定を受ける（スケトウダラ、マガレイ、ソウハチの3魚種）。（3月） ●日ロサケ・マス漁業交渉、日本200海里内漁獲量5,123トン、協力費7億5,900万円で妥結。 ●日ロサケ・マス漁業交渉、ロシア200海里内漁獲量22,500トン、入漁料24万5千円（トン当たり）で妥結。（4月） ●中型サケ・マス船出漁。（5月） ●サケ・マス漁、魚価安に終わる。（8月） ●道東沖、イワシ、サバとも来遊なく、まき網船団来釧せず。（10月） ●秋サケ定置網漁、魚価安に終わる。 ●サンマ漁、水揚げ史上最多で終漁。（11月） ●日ロ漁業交渉、無償10万トン、有償9千トンで妥結。（12月） ●釧路港、水揚量全国第3位となる（21万トン）。
8 年	●ロシア200海里内北転船試験操業（抱卵スケトウダラ）始まる。（2月） ●200海里確立全国漁民決起大会開催（東京都）。

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
平成 8 年	●日ロサケ・マス漁業交渉、日本200海里内漁獲量5,123トン、協力費は上限7億5,900万円、下限6億9千万円として漁獲実績により金額を確定することで妥結。（4月） ●日ロサケ・マス漁業交渉、ロシア200海里内漁獲量22,000トン、入漁料238円/kg（中型船）、245円/kg（小型船）で妥結。（5月） ●中型サケ・マス船出漁。 ●第14回北海道漁港大会、釧路市生涯学習センターにて開催。（6月） ●国連海洋法条約批准200海里全面適用ならず。 ●7月20日「海の日」祝日。 ●9月8日、第1回釧路Oh！！さかなまつり開催（副港特設会場）。 ●道東沖、イワシ・サバとも来遊なく、まき網船団来釧せず。（10月） ●日ロ漁業交渉、無償10万トン、有償9千トンで妥結。（12月） ●釧路港の水揚量17万6千トンで昭和39年以来の20万トン割れとなり、水揚げ数量全国順位8位まで落ちる。
9 年	●TAC（国連海洋法条約による漁獲可能量）制度始まる。（1月） ●ロシア200海里内北転船試験操業（抱卵スケトウダラ）始まる。 ●200海里確立全国漁民代表者緊急集会開催（東京都）。（3月） ●日ロサケ・マス漁業交渉、日本200海里内漁獲量5,123トン、協力費は上限7億5,900万円、下限6億7,100万円として漁獲実績により金額を確定することで妥結。 ●日ロサケ・マス漁業交渉、ロシア200海里内漁獲量26,000トン、入漁料62億1千万円で妥結。（4月） ●4月30日、釧路港港湾整備事業に伴う漁業補償に関する協定書に調印。 ●中型サケ・マス船出漁。（5月） ●5月17日、釧路港港湾整備事業に伴う漁業振興対策に関する覚書に調印。 ●7月12日、釧路港港湾整備事業に伴う漁業振興対策に関する協議書に調印。 ●9月7日、第2回釧路Oh！！さかなまつり開催。 ●道東沖、イワシ・サバとも来遊なく、まき網船団来釧せず。（10月） ●日中漁業新協定調印（東京都）。（11月） ●日ロ漁業交渉、無償95,000トン、有償11,000トンで妥結。（12月） ●釧路港の水揚量190,508トン、水揚げ数量全国順位6位。
10 年	●ロシア200海里内北転船試験操業（抱卵スケトウダラ）始まる。（2月） ●日ロサケ・マス漁業交渉、日本200海里内漁獲量5,123トン、協力費は上限7億5,900万円、下限6億7,100万円として漁獲実績により金額を確定することで妥結。（3月） ●日洋フレッシュ釧路工場、釧路管内初のHACCP施設認定取得。（4月） ●釧路西港区第二期工事本格着工。（5月） ●日ロサケ・マス漁業交渉難航の末、ロシア200海里内漁獲量17,260トン、入漁料39億5,600万円で妥結、新たにベニザケ規制枠設定される。 ●中型サケ・マス船、例年より遅い出漁。 ●釧路機船漁協所属沖底船22隻が16隻に自主減船。（7月） ●8月25日、ペトロパブロフスク・カムチャッキー市と港街友好都市を提携（経済及び教育・文化に関する交流）。 ●9月6日、第3回釧路Oh！！さかなまつり開催。 ●道東沖カタクチイワシ来遊、まき網船団来釧、平成6年以来4年ぶりに釧路港へ水揚げ。 ●第6回漁船海難防止全道大会、釧路市民文化会館にて開催される。（10月） ●日韓漁業新協定調印（鹿児島）。（11月） ●日ロ漁業交渉、無償74,000トン、有償9,600トンで妥結。（12月） ●釧路港の水揚量213,145トン、水揚げ数量全国順位3位。

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
平成 1 1 年	●日韓漁業新協定発効。(1月) ●ロシア200海里内北転船試験操業(抱卵スケトウダラ)始まる。 ●日ロサケ・マス漁業交渉、日本200海里内漁獲量5,370トン、協力費は上限7億7,500万円、下限7億300万円として漁獲実績により金額を確定することで妥結。(3月) ●千代ノ浦漁港完成。 ●日ロサケ・マス漁業交渉、ロシア200カイリ内漁獲量17,200トン、入漁料241千円/トン(中型船)・246千円/トン(小型船)で妥結。(4月) ●中型サケ・マス船出漁。(5月) ●釧路市漁業協同組合総合流通センター竣工。(6月) ●8月4日、釧路港開港100周年。 ●9月5日、第4回釧路Oh!!さかなまつり開催。 ●道東沖カタクチイワシ水揚げ量・魚価とも前年に及ばず。 ●韓国漁船、11月末日を以て本道周辺海域より完全撤退。 ●日ロ漁業交渉、無償72,000トン、有償9,300トンで妥結。(12月) ●釧路港の水揚量212,150トン、水揚げ数量全国順位4位。
1 2 年	●ロシア200海里内北転船試験操業(抱卵スケトウダラ)始まる。(1月) ●日ロサケ・マス漁業交渉、日本200海里内漁獲量5,920トン、入漁料は上限8億5,900万円、下限7億300万円として漁獲実績により金額を確定することで妥結。(3月) ●桂恋漁港拡張部完成。 ●調査捕鯨船団釧路港へ入港、一般公開される。(4月) ●日ロサケ・マス漁業交渉難航の末、ロシア200海里内漁獲量16,110トン、入漁料243円/kg(中型船),247円/kg(小型船)で妥結。 ●釧路市、両市場(ミツウロコ・釧路市漁協)、釧路水産協会、釧路水産物流通協会が共同で外来船誘致を実施(5月) ●中型サケ・マス船出漁。 ●日中漁業新協定発効(6月) ●水産物流通の衛生管理向上の取り組み開始(品質管理高度化推進事業)。(7月) ●9月3日、第5回釧路Oh!!さかなまつり開催。4万2千人来場。 ●台湾サンマ漁船「パオ・シン1号」釧路市前浜(知人地先)にて座礁。コンブ漁・ウニ漁など前浜操業に被害。(9月) ●まき網船団来釧せず。 ●巡視船「えりも」釧路海上保安部に配備。(10月) ●釧路市東部漁協コンブ加工場竣工。(12月) ●日ロ漁業政府間交渉、漁獲枠大幅削減の無償51,657トン、有償8,000トンで妥結。 ●釧路港の水揚量179,990トン、水揚げ数量全国順位5位。
平成 1 3 年	●ロシアが政府間交渉以外の漁獲枠配分に入札制度を導入したが、ロシア国内の調整により入札が遅れ、北転船休漁状態となる。(1月) ●釧路港14年ぶりに全面結氷、6日間水揚げできず。(2月) ●庶路川ししゃもふ化場竣工(白糠町)。 ●座礁台湾船「パオ・シン1号」撤去直前に時化で分断。(3月) ●北転船休漁による釧路市全体の経済損失が130億円と試算される。 ●北転船休漁問題等解決のため関連団体により釧路北洋漁業危機問題対策協議会が発足、要請活動を展開。 ●道立函館水試漁業調査船「金星丸」、釧路重工業(株)により竣工。

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
平成13年	●ロシア海域内漁獲枠の外国企業向けの入札が実施され（3／23）、オホーツク海域のスケソウ5,500トンなどを落札。3月末～4月初めにかけて北転船11隻が出漁。また、これに先行して科学調査枠で3隻が出漁・水揚げ。 ●釧路市水産加工振興センター体制強化。（4月） ●釧路市救難所開設。 ●千代ノ浦漁港、プレジャーボート等の一部開放。 ●千代ノ浦マリナーパーク（仮称）休憩舎供用開始。 ●日ロサケ・マス漁業交渉、日本200海里内漁獲量5,170トン、協力費は上限7億7千万円、下限6億7千万円として漁獲実績により金額を確定することで妥結。 ●日ロサケ・マス漁業交渉、ロシア200海里内漁獲量11,220トン、入漁料248円/kgで妥結。 ●大幅な減船が行われた中型サケ・マス船、ロシア海域に向け出漁。（5月） ●5月18日、北転船の5月以降ロシア海域内漁獲枠の入札が実施される。ロシア・ベーリング海域スケソウ21,000トンなど落札。11隻出漁。 ●水産基本法制定される。（6月） ●釧路市水産業対策協議会ホームページ「釧路市の水産」公開。 ●座礁台湾船「パオ・シン1号」船骸撤去作業終了。 ●北方四島周辺海域でロシアが韓国サンマ漁船に漁獲割り当てを行っていることが公表され、領土問題を含む複雑な問題となる。 ●北転船長期休漁により影響を受けた中小企業者に対する「中小企業信用保険法」の特例措置適用される。（7月） ●（社）北海道漁船海難防止・水難救済センター全道大会、千代ノ浦漁港で開催。 ●資源・漁場の競合など漁業秩序維持の観点から、北方四島周辺海域での韓国サンマ漁船操業中止を中央陳情。 ●9月2日、第6回釧路Oh！！さかなまつり開催。4万人来場。 ●日ロ漁業政府間交渉、漁獲枠大幅削減の無償53,000トン、有償6,500トンで妥結。（12月） ●全鮭連と日鮭協が解散、日ロサケ・マス民間交渉への影響懸念。 ●平成11年より実施の釧路沖底スケソウ韓国輸出額年間10億円を超える。 ●釧路港の水揚量124,028トン、水揚げ数量全国順位8位。
14年	●外国企業向けオークション実施されず、北転船は政府間交渉枠（操業隻数14隻）、試験調査枠（操業隻数3隻）での操業に留まる。 ●北海道水産業・漁村振興条例施行（3月） ●日ロサケ・マス漁業交渉、日本200海里内漁獲量4,100トン、協力費は上限6億1千万円、下限5億2千5百万円として漁獲実績により金額を確定することで妥結。 ●PC（ポートクリアランス＝積み出し証明書）偽造ロシア船による密漁水産物輸入阻止策としてロシア政府発行「貨物税関申告書」の提出義務付け始まる。（4月） ●日ロサケ・マス漁業交渉、ロシア200海里内漁獲量10,780トン、入漁料265円/kgで妥結。 ●IWC（国際捕鯨委員会）年次会議、9年ぶりに日本で開催される（下関）。（5月） ●市政施行80周年を記念して道外外来船に感謝状贈呈。 ●釧路市水産業対策協議会関係者、合併企業との協議のためロシア連邦カムチャッカ州を訪問。（7月） ●釧路市漁業協同組合、組織・事業基盤強化計画認定を受ける（認定漁協）。（8月） ●船員災害防止北海道大会、釧路市開催。 ●9月1日、第7回釧路Oh！！さかなまつり開催。4万3千人来場。 ●北西太平洋鯨類捕獲調査（沿岸域）、釧路港を基地に道東沖で実施。ミンククジラ50頭採集。鯨類の捕食が漁業に与える影響の解明に必要な情報を得る。 ●鯨類捕獲調査母船「日新丸」（7,575トン）釧路港入港。

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
平成 1 4 年	●小型サンマ漁船違法改造問題、操業早期切り上げにより自主的に船体改善を図ること で収束。（１０月） ●道東沖にカタクチイワシ漁場形成。まき網２船団により９～１０月で２万５千トン水揚 げ。 ●釧路港西港第４埠頭供用開始。（１１月） ●姉妹港スワード市（米国）関係者一行、表敬訪問のため来釧。 ●釧路市東部漁業協同組合新事務所へ移転。（１２月） ●日ロ漁業政府間交渉、漁獲枠大幅削減の無償54,300トン、有償6,453トンで妥結。 ●釧路港の水揚量149,017トン、水揚げ数量全国順位6位。
1 5 年	●ロシア200海里水域内の漁獲枠の外国企業向けオークション（入札）が実施されず、北転 船は政府間交渉枠での操業となる。５隻（道内３隻、道外２隻）出漁（昨年１４隻）。 （１月） ●北洋サケ・マス漁業団体「全国鮭鱒流網漁業組合連合」が48年の歴史に幕を閉じる。 （1月） ●密漁取り締まり大幅強化。釧路海上保安部、釧路警察署、道水産林務部が不審船への立ち 入り検査を合同実施。（２月） ●釧路港、動物検疫港に指定される。（４月） ●道東の物流拠点である釧路港は、入出港船舶の24時間運用開始。（４月） ●日ロサケ・マス漁業民間交渉、日本200海里内漁獲量4,100トン、協力費は上限6億1,500万円、 下限5億4,500万円として漁獲実績により金額を確定することで妥結。 ●日ロサケ・マス漁業民間交渉、ロシア200海里内の漁獲量5,770トン、入漁料292円50銭/kg で妥結。（中型19隻、小型15隻） ●市内魚河岸ツアー開始（９月） ●9月7日、第8回釧路Oh！！さかなまつり開催。4万5千人来場。 ●9月26日、十勝沖地震発生（マグニチュード8.0）釧路港港湾施設、魚揚場施設、千代ノ浦 漁港に甚大な被害。 ●カタクチイワシ操業の為、まき網4船団が道東沖で操業。 ●イワシ漁業終了9月～10月の水揚げ2万3千トン（１１月） ●第19回日ロ漁業合同委員会に係る追加漁獲枠、有償入漁4,390トン。 ●日ロ漁業政府間交渉、相互入漁55,383トン、有償入漁6,473トンで妥結。（１２月） ●釧路市水産加工工業協同組合が「みなとまち水産加工振興事業」により、サンマ加工品の ブランド化事業を実施。 ●釧路市水産加工振興センターで塩秋鮭の低塩熟成加工技術を開発、普及へ。 ●釧路港の水揚量 158,399トン、水揚げ数量全国3位。
1 6 年	●日ロサケ・マス漁業民間交渉、日本200海里内漁獲量3,660トン、協力費上限5億4,800万円 下限4億8,800万円。 ●日ロサケ・マス漁業民間交渉、ロシア200海里内の漁獲量7,210トン、入漁料292円51銭/kg で妥結。 ●第1回 釧路大漁どんぱく開催。（9月3日～9月5日） ●9月5日、第9回釧路Oh！！さかなまつり開催。4万5千人来場。 ●「鯨に親しむ市民の集い」開催（10月16日） ●調査捕鯨 隔年から毎年調査へ 捕鯨枠はミンク鯨60頭へ。（9月） ●第9回ベーリング公海漁業条約会議開催（9月7日～9月10日） ●釧路市水産加工振興センターで常圧過熱水蒸気調理装置を導入し調理済み食品の研究開発 を実施。（9月） ●釧路港の水揚量 155,782トン、水揚げ数量全国4位。

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
平成 1 7 年	●日ロサケ・マス漁業民間交渉、日本200海里内漁獲量3,560トン、協力費上限5億3,300万円、下限4億7,400万円。 ●日ロサケ・マス漁業民間交渉、ロシア200海内の漁獲量7,121トン、入漁料292円51銭/kgで妥結。 ●第2回 釧路大漁どんぱく開催。（9月2日～4日） ●9月4日、第10回釧路Oh！！さかなまつり開催。4万人来場。 ●「鯨と食文化を語る市民の夕べ」開催。（9月17日） ●調査捕鯨を前年に続き実施。捕鯨枠はミンク鯨60頭で捕鯨枠どおり60頭捕獲。 ●まき網4船団が道東沖で約30年ぶりのサバの水揚げ。水揚数量は3,364トン。一方、カタクチイワシは前年と比較して大幅に減少。（2,280トン、前年32,064トン） ●日ロ漁業委員会第21回会議に係る追加枠、有償入漁スケトウダラ4,500トン。 ●日ロ漁業政府間交渉、相互入漁51,267トン、有償入漁6,433トンで妥結。（12月） ●釧路港の水揚量114,576トン、水揚数量全国で11位。根室港に初めて道内1位の座を譲る。
1 8 年	●日ロサケ・マス漁業民間交渉 日本200海里内漁獲量3,340トン、協力費上限5億円、下限4億4,500万円。 ●日ロサケ・マス漁業民間交渉、ロシア200海内の漁獲量8,670トン、入漁料292円51銭/kgで妥結。 ●第3回 釧路大漁どんぱく開催。（9月1日～3日） ●9月3日、第11回釧路Oh！！さかなまつり開催。4万3千人来場。 ●「鯨に親しむ市民の集い」開催。（9月17日） ●調査捕鯨を前年に続き実施。捕鯨枠はミンク鯨60頭で35頭捕獲。 ●まき網4船団が道東沖で平成17年に引続き、サバの水揚げ。2歳魚中心の漁獲となり1,891トン（前年3,364トン）で平成19年には3歳魚が漁獲されると予想され今後に期待した。またカタクチイワシは16,112トン（前年2,280トン）と前年を大幅に上回る水揚げとなった。 ●日ロ漁業委員会第22回会議に係る追加枠、有償入漁スケトウダラ4,750トン。 ●日ロ漁業政府間交渉、相互入漁51,297トン、有償入漁6,024トンで妥結。（12月） ●釧路港の水揚量137,948トン、水揚数量全国で5位。前年は根室港に初めて道内1位の座を譲ったが、1年で道内1位に返り咲いた。
1 9 年	●日ロサケ・マス漁業民間交渉、日本200海里内漁獲量3,175トン、協力費上限4億7,530万円、下限4億400万円。 ●日ロサケ・マス漁業民間交渉、ロシア200海内の漁獲量10,275トン、入漁料292円51銭/kgで妥結。 ●第4回 釧路大漁どんぱく開催。（8月31日～9月2日） ●9月2日、第12回釧路Oh！！さかなまつり開催。4万4千人来場。 ●「鯨に親しむ市民の集い」開催。（9月24日） ●調査捕鯨を前年に続き実施。捕鯨枠はミンク鯨60頭で50頭捕獲。 ●イワシやサバの来遊が前年に比べほとんどなく、イワシ52トン（前年16,112トン）、サバ94トン（前年1,891トン）と前年を大幅に下回る水揚げとなった。 ●日ロ漁業政府間交渉、相互入漁51,953トン、有償入漁5,210トンで妥結。（12月） ●釧路港の水揚量107,569トン、水揚数量全国で12位。前年は1年で道内1位に返り咲いたが、根室港に道内1位の座を譲る。
2 0 年	●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、日本200海里内漁獲量3,005トン、協力費上限4億3,600万円、下限3億7,100万円。 ●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、ロシア200海内の漁獲量9,735トン、入漁料307円/kgで妥結。

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
平成 2 0 年	●第5回 釧路大漁どんぱく開催。(9月5日～9月7日) ●9月7日、第13回釧路Oh!!さかなまつり開催。4万人来場。 ●「鯨と食文化を語る市民の集い」開催。(10月3日) ●調査捕鯨を前年に続き実施。捕鯨枠はミンク鯨60頭で50頭捕獲。 ●イワシやサバの来遊が前年に引き続き少なく、イワシ681トン(前年52トン)、サバ19トン(前年794トン)となった。 ●日ロ漁業政府間交渉、相互入漁51,953トン、有償入漁5,210トンで妥結。(12月) ●釧路港の水揚量125,678トン、水揚数量全国で8位。前年は根室港に道内1位の座を譲ったが、1年で道内1位に返り咲いた。
2 1 年	●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、日本200海里内漁獲量2,855トン、協力費上限4億2,570万円、下限3億6,400万円。 ●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、ロシア200海内の漁獲量6,880トン、入漁料307円/kgで妥結。 ●第6回 釧路大漁どんぱく開催。(9月4日～9月6日) ●9月6日、第14回釧路Oh!!さかなまつり開催。4万5,000人来場。 ●「全国鯨フォーラム2009釧路」開催。(10月9日～10月10日) ●調査捕鯨を前年に続き実施。捕鯨枠はミンク鯨60頭で59頭捕獲。 ●カタクチイワシの水揚げ7,139トンとなり、前年比大幅増となった。(前年681トン) ●日ロ漁業政府間交渉、相互入漁51,953トン、有償入漁当初5,210トン、追加枠970トンで妥結。 ●釧路港の水揚量128,053トン、水揚数量全国で5位。前年に引き続き道内1位となり、全国順位も8位から5位に上昇。
2 2 年	●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、日本200海里内漁獲量3,055トン、協力費上限4億4,300万円、下限3億8,500万円。 ●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、ロシア200海内漁獲量8,447トン、入漁料は小型船300.3円/kg、中型船306.6円/kgで妥結。 ●永昌漁業、金井漁業、昭和漁業、杉本漁業各社が漁船を新造。 ●第7回 釧路大漁どんぱく開催。(9月3日～9月5日) ●9月5日、第15回釧路Oh!!さかなまつり開催。3万3,000人来場。 ●調査捕鯨を前年に続き実施。捕鯨枠はミンク鯨60頭で60頭捕獲。 ●カタクチイワシの水揚げ14,741トンとなり、前年比大幅増となった。(前年7,139トン) ●サンマの水揚げ18,531トンとなり、前年に比べ大幅減少となった。(前年28,798トン) ●日ロ漁業政府間交渉、相互入漁51,945トン、有償入漁当初5,064トン、追加枠3,272トンで妥結。 ●釧路港の水揚量113,990トン、水揚数量全国で8位。前年に引き続き道内1位となる。
2 3 年	●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、日本200海里内漁獲量2,694トン、協力費上限3億9,100万円、下限3億3,900万円。 ●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、ロシア200海内漁獲量5,556トン、入漁料は小型船300.3円/kg、中型船306.6円/kgで妥結。 ●第8回 釧路大漁どんぱく開催。(9月2日～9月4日) ●台風の影響により1週間延期し、9月11日に第16回釧路Oh!!さかなまつり開催。3万人来場。 ●調査捕鯨を前年に続き実施。春は、捕鯨枠ミンク鯨60頭で17頭捕獲。秋は、捕鯨枠ミンク鯨60頭で60頭捕獲。 ●カタクチイワシの水揚げ3,727トンとなり、前年比大幅減となった。(前年14,741トン)

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
平成 2 3 年	●サンマの水揚げ28,277トンとなり、前年比大幅増となった。（前年18,531トン） ●日ロ漁業政府間交渉、相互入漁51,355トン、有償入漁5,098トンで妥結。 ●釧路港の水揚量119,642トン、水揚数量全国で8位。道内2位となる（1位は根室港）。
2 4 年	●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、日本200海里内漁獲量2,562トン、協力費上限3億7,184万円、下限3億2,294万円。 ●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、ロシア200海内漁獲量7,071トン、入漁料は小型船300.3円/kg、中型船306.6円/kgで妥結。 ●第9回 釧路大漁どんぱく開催。（8月31日～9月2日） ●9月2日、第17回釧路Oh!!さかなまつり開催。3万2,000人来場。 ●調査捕鯨を前年に続き実施。捕鯨枠はミンク鯨60頭で48頭捕獲。 ●スケトウダラの水揚げ58,421トンとなり、前年比大幅減となった。（前年69,584トン） ●日ロ漁業政府間交渉、相互入漁51,355トン、有償入漁5,098トンで妥結。 ●釧路港の水揚量110,258トン、水揚数量全国で8位。道内2位となる（1位は根室港）。
2 5 年	●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、日本200海里内漁獲量上限設定なし、協力費3億7,184万円。 ●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、ロシア200海内漁獲量5,370トン、入漁料は小型船300.3円/kg、中型船298.6円/kgで妥結。 ●第10回 釧路大漁どんぱく開催。（9月6日～9月8日） ●9月8日、第18回釧路Oh!!さかなまつり開催。3万人来場。 ●調査捕鯨を前年に続き実施。捕鯨枠はミンク鯨60頭で58頭捕獲。 ●日ロ漁業政府間交渉、相互入漁62,096トン、有償入漁5,098トンで妥結。 ●釧路港の水揚量110,668トン、水揚数量全国で6位。道内1位となる。
2 6 年	●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、日本200海里内漁獲量1,949トン、協力費上限2億8,540万円、下限2億5,222万円。 ●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、ロシア200海内漁獲量6,630トン、入漁料は小型船300.3円/kg、中型船306.6円/kgで妥結。 ●第11回 釧路大漁どんぱく開催。（9月5日～9月7日） ●9月7日、第19回釧路Oh!!さかなまつり開催。3万5,000人来場。 ●調査捕鯨を前年に続き実施。捕鯨枠はミンク鯨51頭で51頭捕獲。 ●まき網22船団が来釧。サバの水揚げが9,317トン（前年2,695トン）、イワシの水揚げが20,523トン（前年9,483トン）となり、前年比大幅増となった。 ●日ロ漁業政府間交渉、相互入漁71,303トン、有償入漁4,998トンで妥結。 ●釧路港の水揚量130,571トン、水揚数量全国で3位。道内1位となる。
2 7 年	●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、日本200海里内漁獲量2,050トン、協力費上限3億6万円、下限2億6,405万円。 ●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、ロシア200海内漁獲量1,961.75トン、入漁料は小型船306.6円/kgで妥結。 ●第12回 釧路大漁どんぱく開催。（9月4日～9月6日） ●9月6日、第20回釧路Oh!!さかなまつり開催。3万5,000人来場。 ●調査捕鯨を前年に続き実施。捕鯨枠はミンク鯨51頭で51頭捕獲。 ●まき網24船団が来釧。サバの水揚げが10,815トン（前年9,317トン）、イワシの水揚げが28,805トン（前年20,523トン）となり、前年比大幅増となった。 ●日ロ漁業政府間交渉、相互入漁62,395.8トン、有償入漁2,026トンで妥結。 ●釧路港の水揚量114,977トン、水揚数量全国で6位。道内1位となる。

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
平成28年	●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、日本200海里内漁獲量2,050トン、協力費上限3億6万円、下限2億6,405万円。 ●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、ロシア200海里内漁獲量（曳き網による試験操業）68.88トン、入漁料は調査船306.6円/kgで妥結。 ●第13回 釧路大漁どんぱく開催。（9月2日～9月4日） ●9月4日、第21回釧路Oh！！さかなまつり開催。3万2千人来場。 ●調査捕鯨を前年に続き実施。捕鯨枠はミンク鯨51頭で21頭捕獲。 ●まき網24船団が来釧。サバの水揚げが6,661トン（前年10,815トン）で前年比減となるが、イワシの水揚げが49,471トン（前年28,805トン）となり、前年比大幅増となった。 ●日ロ漁業政府間交渉、相互入漁63,455.9トン、有償入漁1,044.7トンで妥結。 ●釧路港の水揚量114,207トン、水揚数量全国で4位。道内1位となる。
29年	●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、日本200海里内漁獲量2,050トン、協力費上限3億25万円、下限2億6,479万円。 ●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、ロシア200海里内漁獲量（曳き網による試験操業）62.00トン、入漁料は調査船306.6円/kgで妥結。 ●第14回 釧路大漁どんぱく開催。（9月1日～9月3日） ●9月10日、第22回釧路Oh！！さかなまつり開催。2万人来場。 ●調査捕鯨を前年に続き実施。捕鯨枠はミンク鯨77頭で35頭捕獲。 ●まき網24船団が来釧。サバの水揚げが7,653トン（前年6,661トン）、イワシの水揚げが76,793トン（前年49,471トン）となり、前年比大幅増となった。 ●日ロ漁業政府間交渉、相互入漁65,139.9トン、有償入漁1,062.2トンで妥結。 ●釧路港の水揚量139,678トン、水揚数量全国で2位。道内1位となる。
30年	●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、日本200海里内漁獲量2,050トン、協力費上限3億12万円、下限2億6,484万円。 ●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、ロシア200海里内漁獲量（曳き網による試験操業）95.00トン、入漁料は調査船248.1円/kgで妥結。 ●北海道胆振東部地震による影響で、第15回 釧路大漁どんぱくを延期開催。（10月20日～10月21日） ●北海道胆振東部地震による影響で、9月9日開催予定の第23回釧路Oh！！さかなまつり開催中止。 ●調査捕鯨を前年に続き実施。捕鯨枠はミンク鯨29頭で29頭捕獲。 ●まき網24船団が来釧。サバの水揚げが1,360トン（前年7,653トン）、イワシの水揚げが72,696トン（前年76,793トン）となり、前年比大幅減となった。 ●日ロ漁業政府間交渉、相互入漁65,000トン、有償入漁1,062.2トンで妥結。 ●釧路港の水揚量121,878トン、水揚数量全国で3位。道内1位となる。 ●12月26日、日本政府が国際捕鯨取締条約脱退を表明。
31年	●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、日本200海里内漁獲量2,050トン、協力費上限3億13万円、下限2億6,412万円。 ●日ロサケ・マス漁業政府間交渉、ロシア200海里内漁獲量（曳き網による試験操業）95.00トン、入漁料は調査船256円/kgで妥結。
令和元年	●第16回 釧路大漁どんぱく開催。（9月13日～9月15日） ●9月15日、第24回釧路Oh！！さかなまつり開催。1万人来場。 ●6月末をもって国際捕鯨取締条約を脱退。7月1日には、釧路港、下関港にて出発式が行われ、31年ぶりにミンククジラの商業捕鯨を再開。釧路沖にて計33頭捕獲。

釧路水産業の沿革

年 代	沿 革
令和元年	●まき網24船団が来釧。サバの水揚げが423トン（前年1,360トン）、イワシの水揚げが129,235トン（前年72,696トン）となり、前年比大幅増となった。 ●日口漁業政府間交渉、相互入漁77,500トン、有償入漁1,062.2トンで妥結。 ●釧路港の水揚量172,268トン、水揚数量全国で2位。道内1位となる。
2 年	●第17回 釧路大漁どんぱくは新型コロナウイルスの影響により中止。 ●第25回釧路〇h！！さかなまつりはサンマ、イカ、秋サケが不漁のため休止。（～5年） ●ミンククジラの商業捕鯨。釧路沖にて26頭捕獲。 ●まき網24船団が来釧。サバの水揚げが230トン（前年423トン）、イワシの水揚げが141,983トン（前年129,235トン）となった。 ●釧路港の水揚量191,635トン、水揚数量全国で2位。道内1位となる。
3 年	●第18回 釧路大漁どんぱくは新型コロナウイルスの影響により中止。 ●9月に北海道太平洋沿岸で発生 of 赤潮により、ウニ漁業、定置網漁業等に甚大な被害。 ●ミンククジラの商業捕鯨。釧路沖にて18頭捕獲。 ●まき網24船団が来釧。サバの水揚げが51トン（前年230トン）、イワシの水揚げが151,099トン（前年141,983トン）となった。 ●釧路港の水揚量204,499トンとなり、平成11年以来（平成11年212,150トン）の20万トン超え。水揚数量全国で2位。道内1位となる。
4 年	●第19回 釧路大漁どんぱくを3年ぶりに開催。（9月10日～11日） ●釧路港東港区内でギンザケの海面養殖実証試験を行う。9月9日～10月13日で計4回水揚げして12.6トンとなった。 ●ミンククジラの商業捕鯨。釧路沖にて2頭捕獲。 ●まき網24船団が来釧。サバの水揚げが221トン（前年51トン）、イワシの水揚げが134,863トン（前年151,099トン）となった。 ●釧路港の水揚量172,554トン、水揚数量全国で2位。道内1位となる。
5 年	●釧路港の水揚量189,416トンとなり、平成3年以来（平成3年792,167トン）32年振りの日本一となる。 ●第20回 釧路大漁どんぱくを開催。（10月14日～15日） ●釧路港東港区内でトラウトサーモンの海面養殖実証実験を行う。11月17日～12月1日で計2回水揚げして2.96トンとなった。 ●ミンククジラの商業捕鯨。釧路沖にて12頭捕獲。 ●まき網24船団が来釧。イワシの水揚げが159,798トン（前年134,863トン）、サバはまき網漁業で平成21年以来14年振りに水揚げなしとなった。

令和５年 釧路市の水産

令和６年３月発行

発行 釧路市水産港湾空港部水産課

編集 釧路市水産港湾空港部水産課

〒０８５－００２４

釧路市浜町３番１８号 くしろ水産センター２Ｆ

TEL ０１５４－２２－０１９１

FAX ０１５４－２２－９３９５